LP-S300/LP-S300N

取扱説明書２
詳細編

機能・操作方法など、本機を使用していく上で必要となる情報
を詳しく説明しています。
目的に応じて必要な章をお読みください。

NPD3333-00

マークの意味

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。これらのマークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

⚠警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

!重要　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷したり、プリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

参考　補足説明や参考情報を記載しています。

用語 *1　用語の説明を記載していることを示しています。

☞　関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows XP の画面を使用しています。
- 本書に掲載する Mac OS X の画面は、特に指定がない限り Mac OS X v10.4 の画面を使用しています。

ハガキの表記

本書では、郵便事業株式会社製のハガキを郵便ハガキと記載しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2003 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版
本書では、各オペレーティングシステムをそれぞれ Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista と表記しています。また、これらを総称名として「Windows」を使用しています。

Mac OS の表記

Mac OS X v10.2.8 ～ v10.4
本書では、各オペレーティングシステムを「Mac OS X」と表記しています。

商標

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- 弊社純正品以外および弊社品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

もくじ

ソフトウェアの使い方（Windows）

同梱のソフトウェア CD-ROM には、プリンタドライバなど本機を使用するのに必要なソフトウェアが収録されています。ここでは、主なソフトウェアの使い方を説明します。

プリンタドライバの使い方

コンピュータのアプリケーションソフトで作成または表示した文書や画像を印刷するには、プリンタドライバが必要です。プリンタドライバでは、出力する用紙のサイズや向き、印刷品質などに関するさまざまな設定ができます。

プリンタドライバは、『セットアップと使い方編』（冊子）の手順に従ってセットアップを行うとインストールされます。

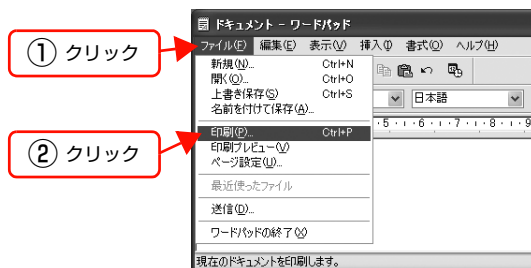
設定画面の開き方

印刷に関する各種の設定は、プリンタドライバのプロパティを開いて変更します。プロパティの開き方は、大きく分けて 2 通りあります。この開き方によって、設定できる項目が異なります。異なる点は、各設定項目の説明を参照してください。

アプリケーションソフトから開く

通常の印刷時は、アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いて設定します。アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開く方法は、ソフトウェアによって異なります。各ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

ここでは、Windows XP に添付の「ワードパッド」の例を説明します。

1 ［ファイル］メニューから［印刷］をクリックして［印刷］画面を表示させます。

2 ［プリンタの選択］で本機を選択して［詳細設定］（Windows 2000 の場合は［プロパティ］）をクリックします。

以上で終了です。

［スタート］メニューから開く

Windows の［スタート］メニューからプリンタドライバのプロパティを開きます。ここでの設定は、アプリケーションソフトから開いた設定画面の初期値になりますので、よく使う値を設定をしておくと便利です。

ここでは、代表的な方法を説明します。

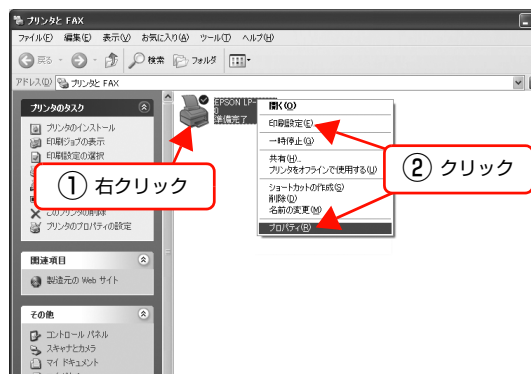
1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。

Windows Vista：
［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003：
［スタート］－［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows 2000：
［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

2 **本機のアイコンを右クリックして、表示されたメニューで［印刷設定］または［プロパティ］をクリックします。**

［印刷設定］または［プロパティ］で設定できる機能が異なります。異なる点は、各設定項目の説明を参照してください。

参考

- ［プロパティ］の設定を行うには、標準ユーザー以上の権限が必要です。
- Windows 2000/Windows XP で［印刷設定］を変更するには制限ユーザー（Users）以上の権限が必要です。Windows Vista で［印刷設定］を変更するには管理者権限が必要です。

以上で終了です。

設定項目の概要

設定画面の概要を説明します。

設定画面の開き方は以下を参照してください。

☞ 本書 4 ページ「設定画面の開き方」

各設定項目の詳細はプリンタドライバヘルプを参照してください。

☞ 本書 6 ページ「ヘルプの見方」

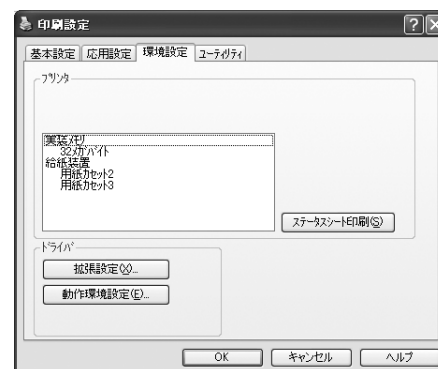
［基本設定］画面

印刷の基本的な設定をします。

［応用設定］画面

拡大/縮小印刷、印刷品質などを必要に応じて設定します。

［環境設定］画面（印刷設定）

取り付けたオプションの確認ができるほか、プリンタドライバの動作環境に関する設定をします。

［環境設定］画面（プリンタのプロパティ）

取り付けたオプションの設定や確認、プリンタドライバの動作環境に関する設定をします。

設定画面は、［スタート］メニューからのみ開けます。

☞ 本書 4 ページ「［スタート］メニューから開く」

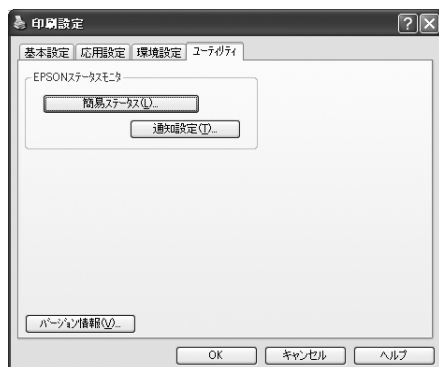
[プリンタ設定]画面

［環境設定］画面内にある［プリンタ設定］をクリックすると表示され、プリンタの動作環境を詳細に設定できます。

設定画面は、［スタート］メニューからのみ開けます。

☞ 本書４ページ「［スタート］メニューから開く」

[ユーティリティ]画面（印刷設定）

EPSON ステータスモニタ（プリンタ監視ユーティリティ）の動作に関する設定をします。EPSON ステータスモニタをインストールすると、すべての項目が表示されます。

[ユーティリティ]画面（プリンタのプロパティ）

画面の内容は、「［ユーティリティ］画面（印刷設定）」と同様です。

設定画面は、［スタート］メニューからのみ開けます。

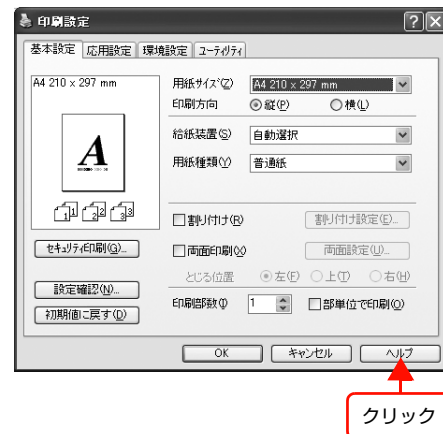
☞ 本書４ページ「［スタート］メニューから開く」

ヘルプの見方

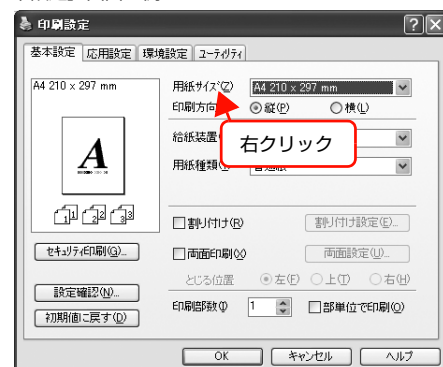
プリンタドライバの各設定項目の詳細は、プリンタドライバヘルプに掲載されています。ヘルプ画面は以下の３つの方法で開けます。

方法１

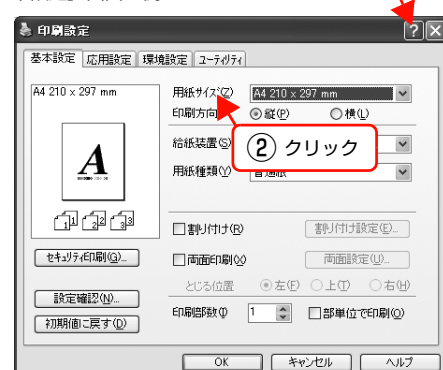
調べたい項目がある画面の［ヘルプ］をクリックします。

［基本設定］画面の例

方法２

調べたい項目の文字の上で右クリックします。

［基本設定］画面の例

方法３

?をクリックしてから、調べたい項目の文字の上でクリックします。

［基本設定］画面の例

プリンタの監視

プリンタのエラーや消耗品の残量、印刷の進行状況などがコンピュータ上で確認できます。これは、EPSON ステータスモニタ（プリンタ監視ユーティリティ）の機能です。

EPSON ステータスモニタは、『セットアップと使い方編』（冊子）の手順に従ってセットアップするとインストールされます。

使用条件

EPSON ステータスモニタでは、以下の環境で使用しているプリンタの監視ができます。

ローカル接続

コンピュータのインターフェイスが双方向通信に対応していること。

Windows XP/Windows Vista のリモートデスクトップ機能*を利用している状態で、移動先のコンピュータから、そのコンピュータに直接接続されたプリンタへ印刷すると、EPSON ステータスモニタがインストールされていると通信エラーが発生します。ただし、印刷は正常に行われます。

* 移動先のモバイルコンピュータなどからオフィスネットワーク内のコンピュータ上にあるアプリケーションソフトやファイルへアクセスし、操作することができる機能。

TCP/IP 直接接続

EpsonNet Print または Standard TCP/IP 接続であること。

Windows 共有プリンタ

- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）上に、対応するプリンタのドライバがインストールされ、かつ、そのプリンタの共有設定がされていて、タスクトレイの［通知設定］画面で［共有プリンタを監視させる］にチェックが付いていること。
- Windows Vistaではユーザーの簡易切り替え*によって複数のユーザーから同時に共有プリンタを監視することはできません。複数ユーザーで同時に共有プリンタを監視する場合は、EPSON ステータスモニタの［通知設定］画面で［共有プリンタを監視させる］にチェックを付けます。

* 1つの OS に、同時に複数ユーザーがログインできる機能。

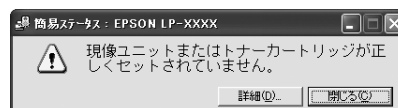
参考

- NetBEUIを使用した直接印刷とIPP印刷では、ネットワークプリンタの監視はできません。
- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ上）で、［共有プリンタを監視させる］をチェックした後でプリンタの接続先を変える場合は、一旦このチェックを外して［OK］をクリックしてから、再度チェックしてください。
- Windows Vista の［通知設定］画面で［共有プリンタを監視させる］にチェックすると、Windows Vista のユーザーアカウント制御により、プログラムの実行を許可する確認画面が表示されます。
  確認画面では、［続行］をクリックしてください。

エラーの表示

コンピュータからの印刷中にエラーが発生すると、［簡易ステータス］画面が表示され、エラーの内容をお知らせします。［詳細］をクリックすると［詳細ステータス］画面が表示されます。

エラーが解消されると、画面は自動的に閉じます。

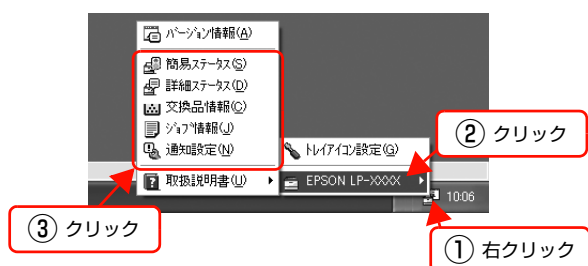
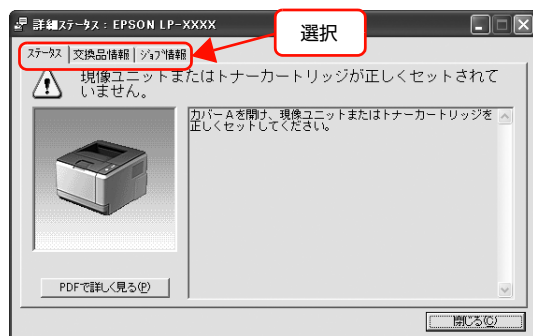
［簡易ステータス］画面

［詳細ステータス］画面

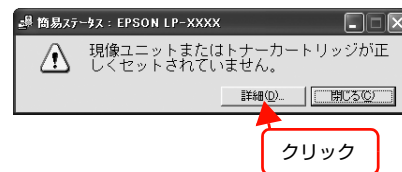
プリンタの状態の確認

［簡易ステータス］、［詳細ステータス］、［交換品情報］、［ジョブ情報］の各画面を開くとプリンタの状態が確認できます。

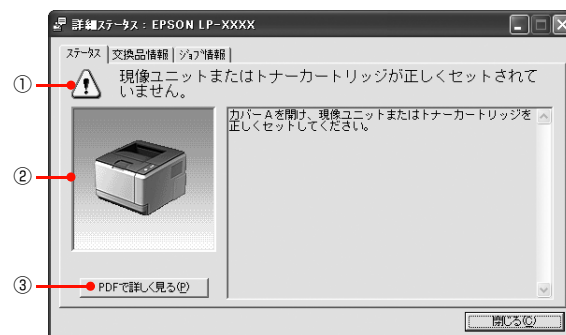
LP-S300 をお使いの場合は、オプションの無線プリントアダプタを装着し、ネットワーク接続すると［ジョブ情報］画面が表示されます。

画面の開き方は以下の通りです。

タスクトレイから本機を選択し、［簡易ステータス］、［詳細ステータス］、［交換品情報］、［ジョブ情報］を選択します。

［詳細ステータス］、［交換品情報］、［ジョブ情報］は、タブをクリックして切り替えることもできます。

各画面の概要

［簡易ステータス］画面

プリンタの状態を示すメッセージが表示されます。［詳細］をクリックすると［詳細ステータス］画面が表示されます。

［詳細ステータス］画面

プリンタの状態を示すメッセージや、エラーの対処方法などが表示されます。

①アイコン / メッセージ

プリンタの状態を示すメッセージとアイコンが表示されます。

②イラスト / メッセージ

プリンタの状態を示すメッセージと、該当箇所を示すイラストが表示されます。エラーが発生すると、対処方法が表示されます。

③［PDF で詳しく見る］ボタン

取扱説明書（電子マニュアル）がインストールされている環境下で、紙詰まりや交換品の寿命など特定のエラーが発生したときに表示されます。ボタンをクリックすると、PDF 版の取扱説明書が起動し、対処方法が記載されたページが表示されます。

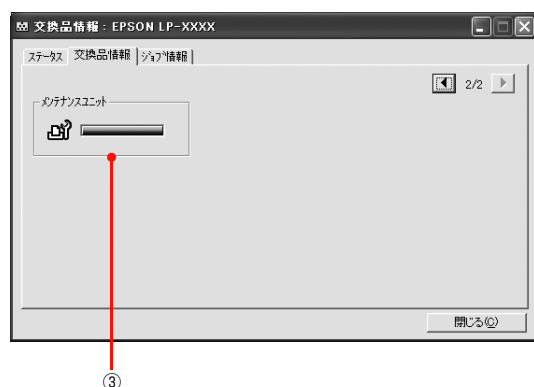
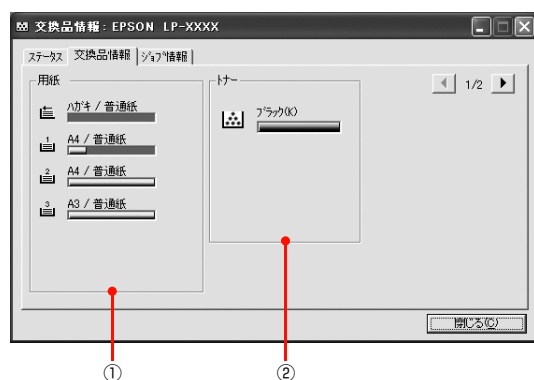
［通知設定］画面の［取扱説明書を参照する］のチェックが外れているときは表示されません。

☞ 本書 10 ページ「監視・通知の設定」

！重要

Adobe® Reader® のインストール直後は、このボタンから Adobe® Reader® を起動できません。あらかじめ Windows の［プログラム］または［すべてのプログラム］から Adobe® Reader® を起動して、使用許諾契約書に同意してからお使いください。

[交換品情報] 画面

交換品の寿命（残量）などが表示されます。画面右上の表示切り替えボタン［◀］/［▶］をクリックすると、画面が切り替わります。

① 用紙

給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（タイプ）、用紙残量の目安を表示します。

② トナー

トナーの残量の目安を表示します。トナーに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

③ メンテナンスユニット

メンテナンスユニットの寿命の目安を表示します。メンテナンスユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

[ジョブ情報] 画面

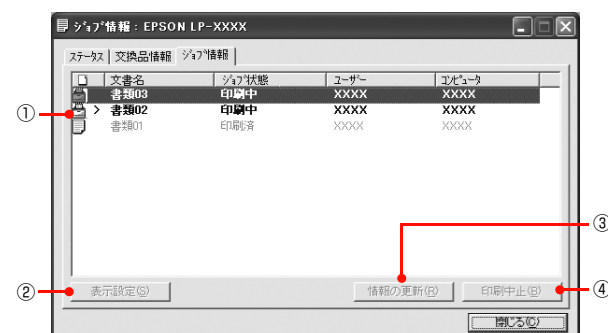
ネットワーク環境で印刷中またはプリンタで処理中のジョブの状態が表示されます。

TCP/IP 接続のネットワーク環境で、かつ以下の条件を満たすときに使用できます。

- プリントサーバを介した共有設定

プリントサーバの OS	Windows 2000/ Windows Server 2003/ Windows Vista
クライアントの OS	Windows XP/ Windows 2000/ Windows Vista
プリンタとプリントサーバの接続方法	EpsonNet Print Standard TCP/IP

- プリントサーバを介さないネットワーク接続

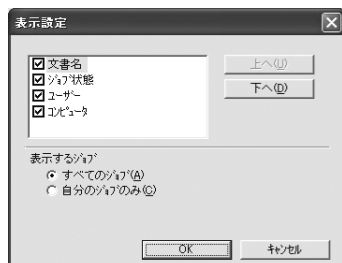
クライアントの OS	Windows XP/ Windows 2000/ Windows Vista
プリンタとクライアントの接続方法	EpsonNet Print Standard TCP/IP

① ジョブリスト

コンピュータでスプール中またはプリンタで処理中のジョブの文書名、状態、ユーザー名、コンピュータ名を表示します。リスト一番左のアイコンは、印刷の状態に応じて変化します。

ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブでは、以下の情報は表示されません。

- 送信中ジョブ
- 印刷済みジョブと削除済みジョブ
- 待機中または印刷中の文書名

② [表示設定] ボタン
ジョブリストの表示内容を設定します。

表示する項目名にチェックを付けると表示され、チェックを外すと表示されません。また、項目を選択してから［上へ］/［下へ］をクリックすると、ジョブリスト内での表示順序が変更できます。

③ [情報の更新] ボタン
最新のジョブ情報を表示します。

④ [印刷中止] ボタン
ジョブリストに表示されている印刷中、送信中、待機中、保持のジョブを選択し、［印刷中止］をクリックすると、そのジョブの印刷を中止することができます。

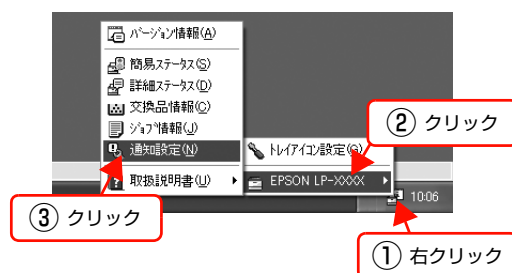
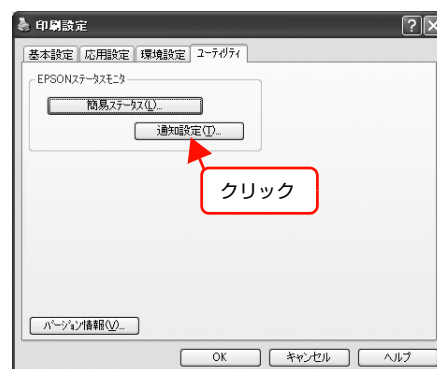
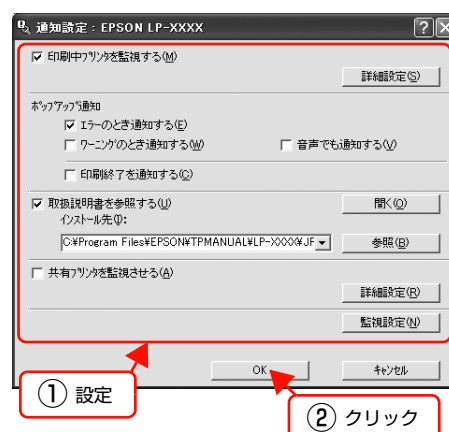
ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブは中止できません。

監視・通知の設定

EPSON ステータスモニタで、どのような状態を画面表示するか、音声通知するか、共有プリンタを監視するかなどを設定します。

設定方法は以下の通りです。

1 タスクトレイまたはプリンタドライバの［ユーティリティ］画面から［通知設定］画面を開きます。

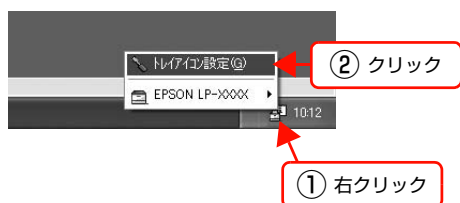
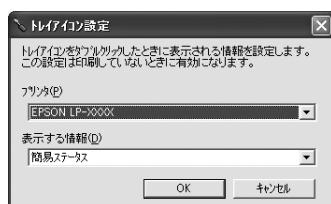
タスクトレイから開く場合

プリンタドライバから開く場合

2 必要な項目を設定します。

設定項目の詳細は、画面のヘルプを参照してください。
本書 6 ページ「ヘルプの見方」

以上で終了です。

トレイアイコンの設定

タスクトレイにある EPSON ステータスモニタのアイコンをダブルクリックしたときに、どのプリンタの何を表示するか設定します。ただし、ここで設定したプリンタ以外のプリンタで印刷しているときは、印刷中のプリンタの情報が表示されます。

設定方法は以下の通りです。

1 **タスクトレイの EPSON ステータスモニタのアイコンを右クリックし、［トレイアイコン設定］をクリックします。**

2 **［トレイアイコン設定］画面で、［プリンタ］と［表示する情報］を選択します。**

以上で終了です。

バーコードフォントの使い方

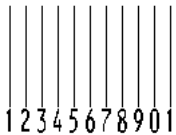
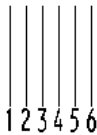
同梱のソフトウェア CD-ROM には、EPSON バーコードフォントが収録されています。EPSON バーコードフォントは、データキャラクタ（バーコードに登録する文字列）を入力するだけで、簡単にバーコードシンボルを作成できるフォントです。通常必要な、データキャラクタ以外のコードやマージン、OCR-B フォント（バーコード下部の文字）などの入力が不要です。

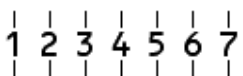
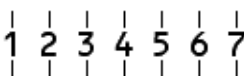
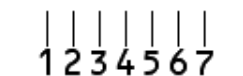
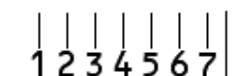
インストール方法は以下を参照してください。

本書 25 ページ「ソフトウェアを選択してインストール」

バーコードフォントの種類

EPSON バーコードフォントの種類は以下の通りです。

各バーコードの仕様や規格の詳細は、仕様書や市販の解説書などを参照してください。

JAN（標準バージョン）

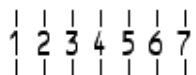
フォント名		EPSON JAN-13	EPSON JAN-13 Short
OCR-B		あり	
チェックデジット		あり	
キャラクタ種類		数字（0 ～ 9）	
桁数		12	
入力可能サイズ		60 ～ 96pt	36 ～ 90pt
読み取り保証サイズ		60pt、75pt（標準）	36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt
自動設定される情報（入力不要）		• レフト / ライトマージン • レフト / ライトガードバー • チェックデジット • OCR-B • センターバー	
例	入力	123456789012	
	画面表示	123456789012	123456789012
	印刷	1 234567 890128	1 234567 890128
備考		JIS X 0501	• JAN-13 のバーの高さを低くしたもの • 日本国内でのみ使用可能

JAN(短縮バージョン)

フォントン名		EPSON JAN-8	EPSON JAN-8 Short
OCR-B		あり	
チェックデジット		あり	
キャラクタ種類		数字（0 ～ 9）	
桁数		7	
入力可能サイズ		52 ～ 130pt	36 ～ 90pt
読み取り保証サイズ		52pt、65pt（標準）、97.5pt、130pt	36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt
自動設定される情報（入力不要）		• レフト / ライトマージン • レフト / ライトガードバー • チェックデジット • OCR-B • センターバー	
例	入力	1234567	
	画面表示	1234567	1234567
	印刷	1234 5670	1234 5670
備考		ー	• JAN-8 のバー高さを低くしたもの • 日本国内でのみ使用可能

UPC

フォント名		EPSON UPC-A	EPSON UPC-E
OCR-B		あり	あり
チェックデジット		あり	あり
キャラクタ種類		数字（0 ～ 9）	数字（0 ～ 9）
桁数		11	6
入力可能サイズ		60 ～ 96pt	60 ～ 96pt
読み取り保証サイズ		60pt、75pt（標準）	60pt、75pt（標準）
自動設定される情報（入力不要）		• レフト / ライトマージン • レフト / ライトガードバー • チェックデジット • OCR-B • センターバー	• レフト / ライトマージン • レフト / ライトガードバー • チェックデジット • OCR-B • ナンバーシステムの「0」
例	入力	12345678901	123456
	画面表示	12345678901	123456
	印刷	1 23456 78901 2	0 123456 5
備考		Regular タイプ。補足コードはサポートしていません。	Zero Suppression タイプ（余分な 0 を削除）

Code39

フォント名		EPSON Code39	EPSON Code39 CD	EPSON Code39 Num	EPSON Code39 CD Num
OCR-B		なし		あり	
チェックデジット		なし	あり	なし	あり
キャラクタ種類		英数字（A ～ Z、0 ～ 9）、記号（－　.　スペース　$　/　+　%）			
桁数		制限なし			
入力可能サイズ		26 ～ 96pt		36 ～ 96pt	
読み取り保証サイズ		26pt、52pt、78pt		36pt、72pt	
自動設定される情報（入力不要）		• 左／ 右クワイエットゾーン • スタート／ ストップキャラクタ • チェックデジット			
例	入力	1234567			
	画面表示	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7	1234567	1234567
	印刷			1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7 S
備考		• JIS X 0503 • スペースを表すバーコードを入力したいときは、「__」（アンダーライン）を入力してください。			

Code128

<table>
<tr><td colspan="2">フォント名</td><td>EPSON CODE128</td></tr>
<tr><td colspan="2">OCR-B</td><td>なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">チェックデジット</td><td>あり</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタ種類</td><td>全ての ASCII 文字（95 文字）</td></tr>
<tr><td colspan="2">桁数</td><td>制限なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能サイズ</td><td>26 ～ 96pt</td></tr>
<tr><td colspan="2">読み取り保証サイズ</td><td>26pt、52pt、78pt</td></tr>
<tr><td colspan="2">自動設定される情報
（入力不要）</td><td>• 左 / 右クワイエットゾーン
• スタート / ストップキャラクタ
• コードセットの変更キャラクタ
• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="3">例</td><td>入力</td><td>1234567</td></tr>
<tr><td>画面表示</td><td>1234567</td></tr>
<tr><td>印刷</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">備考</td><td>• JIS X 0504
• コードセット A、B、C をサポートしています。入力するキャラクタのコードセットが途中で変わったときに、自動的にコードセットの変換コードを挿入します。</td></tr>
</table>

Interleaved 2 of 5

フォント名		EPSON ITF	EPSON ITF CD	EPSON ITF Num	EPSON ITF CD Num
OCR-B		なし		あり	
チェックデジット		なし	あり	なし	あり
キャラクタ種類		数字（0 ～ 9）			
桁数		制限なし			
入力可能サイズ		26 ～ 96pt		36 ～ 96pt	
読み取り保証サイズ		26pt、52pt、78pt		36pt、72pt	
自動設定される情報（入力不要）		• 左 / 右クワイエットゾーン • スタート / ストップキャラクタ • チェックデジット • 文字列先頭の「0」（合計文字数が偶数でない場合のみ）			
例	入力	1234567			
	画面表示	1234567	1234567	1234567	1234567
	印刷			01234567	12345670
備考		キャラクタを２個一組で扱います。キャラクタの合計数が奇数個の場合、EPSON バーコードフォントは自動的にキャラクタの先頭に 0 を追加して偶数個になるようにします。			

NW-7

フォント名		EPSON NW-7	EPSON NW-7 CD	EPSON NW-7 Num	EPSON NW-7 CD Num
OCR-B		なし		あり	
チェックデジット		なし	あり	なし	あり
キャラクタ種類		数字（0 ～ 9）、記号（－　＄　：　／　.　＋）			
桁数		制限なし			
入力可能サイズ		26 ～ 96pt		36 ～ 96pt	
読み取り保証サイズ		26pt、52pt、78pt		36pt、72pt	
自動設定される情報（入力不要）		• 左 / 右クワイエットゾーン • スタート / ストップキャラクタ（入力しない場合） • チェックデジット			
例	入力	1234567			
	画面表示	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7	1234567	1234567
	印刷			A 1 2 3 4 5 6 7 A	A 1 2 3 4 5 6 7 4 A
備考		• JIS X 0503 • スタート / ストップキャラクタのどちらかを入力すると、もう一方も同じになるように自動的挿入されます。スタート / ストップキャラクタを入力しない場合は、両方に自動的に「A」が自動挿入されます。			

郵便番号(カスタマバーコード)

項目		内容
フォント名		EPSON J-Postal Code
OCR-B		なし
チェックデジット		あり
キャラクタ種類		数字（0 〜 9)、英文字（A 〜 Z)、記号（−）
桁数		制限なし
入力可能サイズ		8 〜 11.5pt
読み取り保証サイズ		8pt、9pt、10pt、11.5pt
自動設定される情報（入力不要）		• バーコードの上下左右 2mm の空白 • 入力時の−（ハイフン）の削除 • スタート / ストップコード • 住所表示番号の 13 桁調整 • チェックデジット
例	入力	123-4567
	画面表示	1 2 3 − 4 5 6 7
	印刷	
備考		• 郵便番号（3桁）−郵便番号（4桁）−住所表示番号（バーコードに変換後 13 桁まで）を入力します。住所表示番号は入力時の桁数の制限はありませんが、バーコードに変換後 13 桁を超える部分は省略されます。また住所表示番号が 13 桁に満たないときは、13 桁になるように末尾にコードが挿入されます。 • 印刷領域やレイアウト枠は余裕をもって設定してください。

EAN128

フォント名		EPSON EAN128
OCR-B		あり
チェックデジット		あり
キャラクタ種類		数字（0 ～ 9）、英文字（A ～ Z） 括弧 (　) は、アプリケーション識別子 (AI) を識別するためのみ使用します。英文字は大文字のみサポートが、入力は小文字で行います。
桁数		アプリケーション識別子 (AI) により桁数が異なります。 01：GTIN（グローバルトレードアイテムナンバー） 　　4桁「(01)」＋ 13 桁（数字） 17：パッチ / ロットナンパー 　　4桁「(17)」＋6桁（数字） 10：保証期限日 　　4桁「(10)」＋最大 20 桁（英数字） 30：数量 　　4桁「(30)」＋最大8桁（数字）
入力可能サイズ		36pt 以上
読み取り保証サイズ		36pt、72pt
自動設定される情報（入力不要）		• 左／右クワイエットゾーン • スタート／ストップキャラクタ • FNC1 キャラクタ （Code128 との識別、および可変長アプリケーション識別子用データの区切りのため） • コードセットの変更キャラクタ • チェックデジット
例	入力	(01)1491234567890(17)990101(30)12(10)abc
	画面表示	(01)1491234567890(17)990101(30)12(10)ABC
	印刷	(01)14912345678901(17)990101(30)12(10)ABC
備考		コードセット A、B、C をサポートしています。入力するキャラクタのコードセットが途中で変わったときは、自動的にコードセットの変換コードが挿入されます。

標準料金代理収納

フォント名		EPSON EAN128_A191
OCR-B		あり
チェックデジット		あり
キャラクタ種類		数字（0 〜 9）、記号（−） 括弧 (　) は、アプリケーション識別子 (AI) を識別するためのみ使用します。 ハイフンは、入力する数字間のセパレータとして使用します。
桁数		４桁「(91)」＋ 46 桁（数字間の「-」を含む）
入力可能サイズ		48pt 以上
読み取り保証サイズ		48pt
自動設定される情報（入力不要）		• 左 / 右クワイエットゾーン • スタート / ストップキャラクタ • FNC1 キャラクタ（Code128 との識別のために挿入します。） • チェックデジット
例	入力	(91)912345-012345678901234567890-1-010331-0-123000
	画面表示	(91)912345-012345678901234567890-1-010331-0-123000
	印刷	(91) 912345-012345678901234567890 1 010331-0-123000-3
備考		コンビニエンスストアなどで扱う請求書用シンボル

データ作成時のご注意

- 文字の装飾（ボールド / イタリック / アンダーライン等）、網掛けはしないでください。
- 背景色は、バーコード部分とのコントラストが低下する色を避けてください。
- 文字の回転は、90 度、180 度、270 度以外は指定しないでください。
- 文字間隔は変更しないでください。
- 文字の縦あるいは横方向のみを拡大 / 縮小しないでください。
- アプリケーションソフトのオートコレクト機能は使用しないでください。

  例）文字間隔の自動調整
  　　行末に存在するスペース削除
  　　連続する複数個のスペースをタブなどに変換
  　　記号の変換
- 入力した文字をバーコードに変換する際に、バーコードとして必要なキャラクタを自動的に追加するため、バーコードの長さが入力時よりも長くなることがあります。バーコードと周囲の文字が重ならないように注意してください。
- 一行に２つ以上のバーコードを入力するときは、バーコード間をタブで区切ってください。スペースで区切るときは、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。バーコードフォントでスペースを入力すると、スペースがバーコードの一部となってしまいます。
- 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、バーコードの高さを、全長の 15%以上になるように自動的に調整します。バーコードの周囲に文字が入っているときは、バーコードと重ならないように間隔を空けてください。（Code39/Code128/Interleaved 2 of 5/NW-7/EAN128）
- アプリケーションソフトで､改行を示すマークの表示 / 非表示を選択できる場合、バーコードの部分とそうでない部分が区別しやすいよう、改行マークが表示される設定にしておくことをお勧めします。

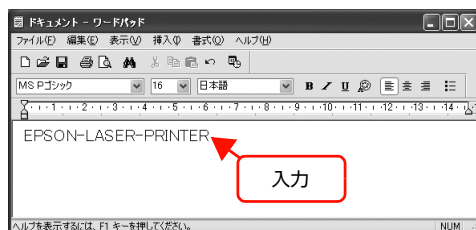
印刷時のご注意

- トナーの濃度や紙質あるいは、お使いのアプリケーションソフトによっては、印刷されたバーコードが読み取り機で読み取れないことがあります。お使いの読み取り機で認識テストをしてからご利用いただくことをお勧めします。
- EPSON バーコードフォントは、本機に同梱されているプリンタドライバでのみ印刷可能です。
- プリンタドライバで、以下の通り設定してください。

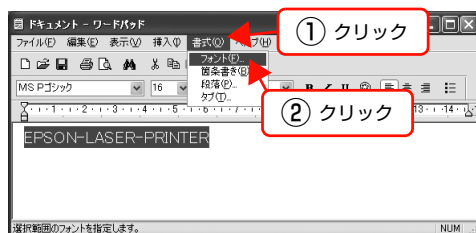
画面	項目	設定値
基本設定	割り付け	チェックなし（OFF）
応用設定	拡大 / 縮小	チェックなし（OFF）
応用設定（応用設定－詳細設定）	印刷品質	きれい（600dpi）
応用設定－詳細設定	トナーセーブ	チェックなし（OFF）

バーコード作成 / 印刷の手順

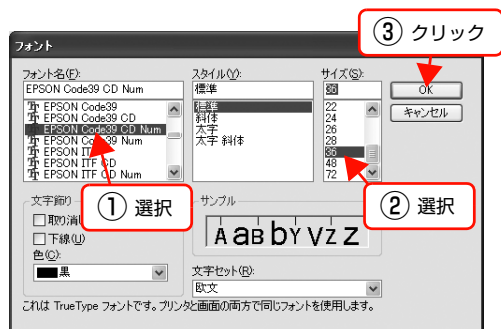
ここでは Windows XP のワードパッドを例に、EPSON バーコードフォントの作成と印刷の手順を説明します。

1　ワードパッドを起動し、バーコード変換する文字をすべて半角（1Byte）で入力します。

2　入力した文字を選択します。

選択した範囲が反転表示になります。

3　［書式］―［フォント］の順にクリックします。

4　［フォント］の一覧から印刷したい EPSON バーコードフォントを選択し、［サイズ］を選択して［OK］をクリックします。

推奨または使用可能なフォント（キャラクタ）サイズは、バーコードフォントの種類と OS のバージョンによって異なります。

☞ 本書 12 ページ「バーコードフォントの種類」

参考

アプリケーションソフトによっては、フォント名をそのフォント自体で表示することがあります。

5　入力した文字が、図のように表示されます。

6　印刷を実行します。

入力したデータがバーコードとして印刷されます。

入力したデータが不適当な場合などプリンタドライバがエラーと判断すると、画面表示と同様のフォントが出力されます。この場合バーコードとして読み取りはできません。

以上で終了です。

TrueType フォントの使い方

同梱のソフトウェア CD-ROM には、EPSON TrueType フォントと OCR-B* TrueType フォントが収録されています。インストールすると、アプリケーションソフトで使用できる書体が追加され、より表現豊かな文書を作成することができます。

* 光学的文字認識に用いる目的で開発され、JISX9001 に規定された書体の名称。

インストール方法は以下を参照してください。

本書 25 ページ「ソフトウェアを選択してインストール」

ソフトウェア CD-ROM に収録されているフォントは以下の通りです。

EPSON TrueType フォント

フォント名	印刷例
EPSON 行書体 M	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 教科書体 M	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 正楷書体 M	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 丸ゴシック体 M	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 太角ゴシック体 B	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 太明朝体 B	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 太行書体 B	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 太丸ゴシック体 B	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント

OCR-B TrueType フォント

フォント名	印刷例
OCR-B	1234567890

ソフトウェア CD-ROM に収録されている OCR-B フォントセットには、OCR-B の規格外の文字も含まれています。

読み取り用に使用するときは、事前に読み取り機で読み取れることを確認してください。トナー状況や用紙の種類によって読み取れないことがあります。OCR-B フォントの保証サイズは 12 ポイントです。

ソフトウェアを選択してインストール

セットアップ時にインストールされないソフトウェアをインストールしたいときや、再インストールが必要なときは、必要なソフトウェアだけを選択してインストールすることができます。

ソフトウェアの不具合などにより、すでにインストールされているソフトウェアをインストールし直したいときは、対象のソフトウェアを一旦削除し、コンピュータを再起動してからインストールしてください。

☞ 本書 26 ページ「ソフトウェアの削除」

1 **Windowsを起動してソフトウェアCD-ROMをセットします。**

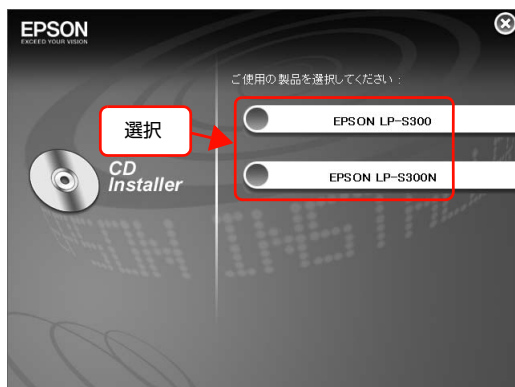
Windows Vista:

① ［自動再生］画面の［プログラムのインストール / 実行］を、発行元が SEIKO EPSON であることを確認してからクリックします。

② ［ユーザーアカウント制御］画面で［続行］をクリックします。

Windows Vista 以外:

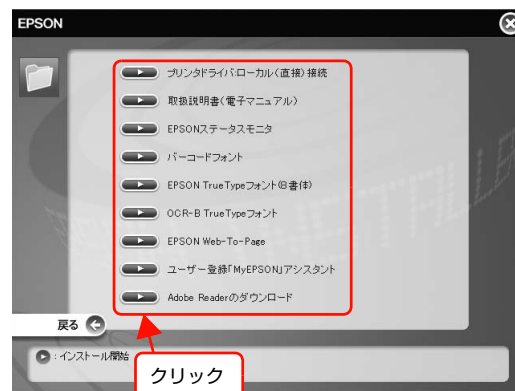
2 に進みます。

2 **お使いの機種名を選択します。**

3 **［カスタムインストール］をクリックします。**

LP-S300 の場合

LP-S300N の場合

4 **インストールするソフトウェアの［ ▶ ］をクリックします。**

画面は LP-S300 です。

5 **画面の指示に従ってインストール作業を進めます。**

最後に［完了］をクリックしてインストールを終了します。

以上で終了です。

ソフトウェアの削除

インストールしたソフトウェアを削除する方法を説明します。再インストールやバージョンアップをするときは、対象のソフトウェアを削除してから行います。

!重要

- 管理者権限のあるユーザーでログオンし、ソフトウェアを削除してください。
- 削除したソフトウェアを再インストールする場合は、コンピュータを再起動してください。

1 起動しているアプリケーションソフトをすべて終了し、コンピュータを再起動します。

2 Windows の［スタート］メニューから［コントロールパネル］を開きます。

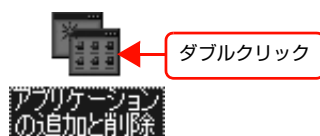
Windows XP/Windows Server 2003/
Windows Vista：
［スタート］－［コントロールパネル］の順にクリックします。

Windows 2000：
［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］の順にクリックします。

3 ［プログラムのアンインストール］/［プログラムの追加と削除］/［アプリケーションの追加と削除］を開きます。

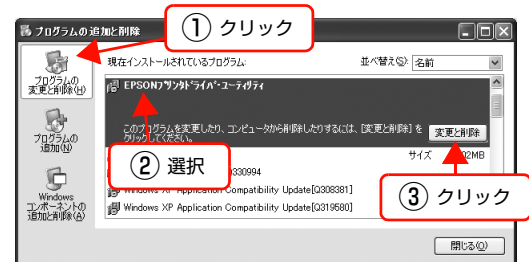
Windows Vista：
［プログラムのアンインストール］をクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003：
［プログラムの追加と削除］をダブルクリックします。

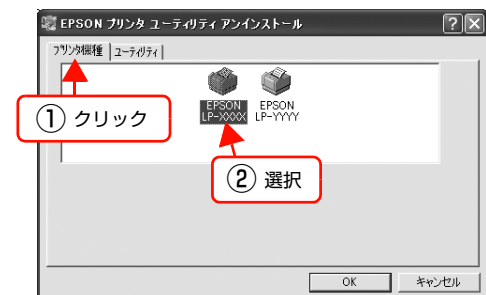
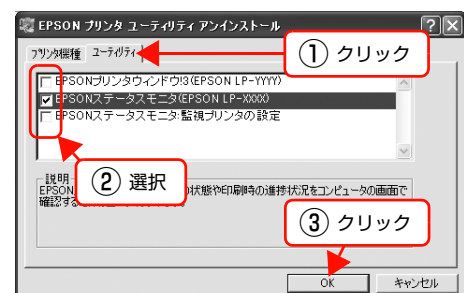
Windows 2000：
［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。

4 削除するソフトウェアを選択してから［アンインストールと変更］/［変更と削除］をクリックします。

Windows Vista：
削除するソフトウェアを選択してから［アンインストールと変更］をクリックします。

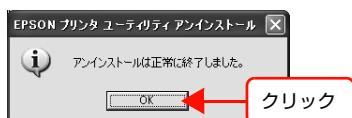
Windows 2000/Windows XP/
Windows Server 2003：
［プログラムの変更と削除］をクリックしてから削除するソフトウェアを選択し［変更と削除］をクリックします。

<例> Windows XP の場合

- ［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］を選択すると、プリンタドライバと EPSON ステータスモニタを削除します。5 に進んでください。
- その他のソフトウェアを削除する場合は 7 に進んでください。

5 ［プリンタ機種］タブをクリックし、本機のアイコンを選択します。

ここで選択した機種のプリンタドライバが削除されます。プリンタドライバを削除したくないときは、何も選択していない状態にしてください。

6 ［ユーティリティ］タブをクリックし、削除するソフトウェアを選択して［OK］をクリックします。

7 **画面の指示に従って作業を進めます。**

8 **終了のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。**

削除したソフトウェアを再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。

以上で終了です。

ソフトウェアのバージョンアップ

ソフトウェアCD-ROMに収録されているプリンタドライバなどのソフトウェアは､バージョンアップを行うことがあります｡必要に応じて新しいソフトウェアをお使いください｡

入手方法

最新のソフトウェアは、弊社のホームページからダウンロードできます。最新バージョンの情報は、ホームページでご確認ください。バージョンは、数字が大きいほど新しいものです。

アドレス　http://www.epson.jp/

CD-ROM での郵送をご希望の場合は、エプソンディスクサービスが実費にて承ります。

『セットアップと使い方編』（冊子）裏表紙

バージョンアップの手順

ソフトウェアのバージョンアップの手順は以下の通りです。

旧バージョンのソフトウェアを削除
本書 26 ページ「ソフトウェアの削除」

↓

新バージョンのソフトウェアを入手
（ダウンロードまたは郵送）

↓

ファイルを解凍してインストール

ソフトウェアの使い方（Mac OS X）

同梱のソフトウェア CD-ROM には、プリンタドライバなど本機を使用するのに必要なソフトウェアが収録されています。ここでは、主なソフトウェアの使い方を説明します。

プリンタドライバの使い方

コンピュータのアプリケーションソフトで作成または表示した文書や画像を印刷するには、プリンタドライバが必要です。プリンタドライバでは、出力する用紙のサイズや向き、印刷品質などに関するさまざまな設定ができます。

プリンタドライバは、『セットアップと使い方編』（冊子）の手順に従ってセットアップを行うとインストールされます。用紙や印刷の設定をする前に、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］で本機を選択してください。セットアップ時に選択してから変更していなければ、再選択する必要はありません。

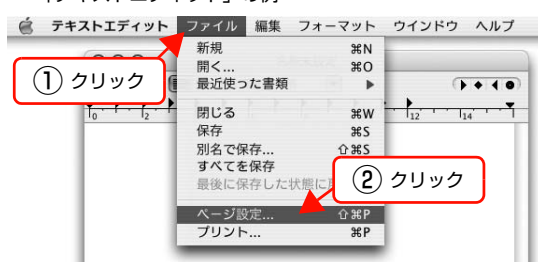
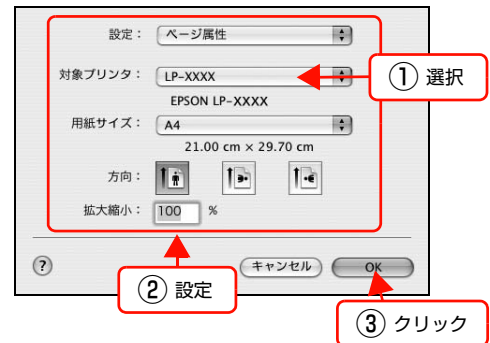
☞『セットアップと使い方編』（冊子）―「コンピュータの接続と設定」

ページ設定

アプリケーションソフトで印刷データを作成するときに、プリンタドライバの［ページ設定］画面で、用紙サイズなどを設定します。

1 **［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択します。**

アプリケーションソフトによってメニュー名が異なります。

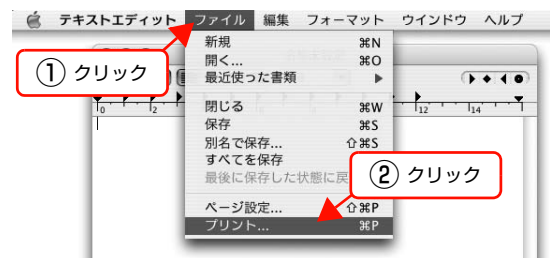
「テキストエディット」の例

2 **［対象プリンタ］から本機を選択して必要な項目を設定し、［OK］をクリックします。**

設定項目の詳細はプリンタドライバヘルプを参照してください。

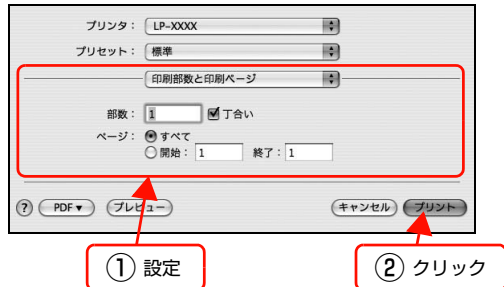
☞ 本書 29 ページ「ヘルプの見方」

以上で終了です。

プリント設定

作成したデータを印刷するときは、［プリント］画面で印刷関連の設定をします。

1 **［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

2　必要な項目を設定し、［プリント］をクリックします。

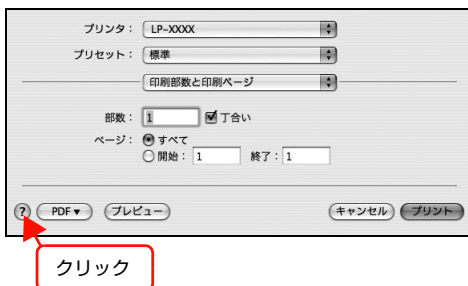
印刷が実行されます。
アプリケーションによっては、独自の設定画面を表示するものもあります。

設定項目の詳細はプリンタドライバヘルプを参照してください。
☞ 本書 29 ページ「ヘルプの見方」

以上で終了です。

ヘルプの見方

プリンタドライバの各設定項目の詳細は、プリンタドライバヘルプに掲載されています。

調べたい項目がある画面の ? をクリックすると、ヘルプが表示されます。

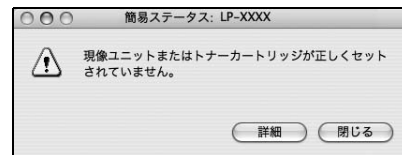
［プリント］画面の例

プリンタの監視

プリンタの状態（エラーや消耗品の残量、印刷の進行状況など）がコンピュータ上で確認できます。これは、プリンタドライバとともにインストールされる EPSON ステータスモニタの機能です。

エラーの表示

コンピュータからの印刷中にエラーが発生すると、EPSON ステータスモニタの［簡易ステータス］画面が表示され、エラーの内容をお知らせします。［詳細］をクリックすると［詳細ステータス］画面が表示されます。

エラーが解消されると、［簡易ステータス］画面は自動的に閉じます。

［簡易ステータス］画面

［詳細ステータス］画面

プリンタの状態の確認

［簡易ステータス］、［詳細ステータス］、［交換品情報］、［ジョブ情報］の各画面を開くとプリンタの状態が確認できます。

LP-S300 をお使いの場合は、オプションの無線プリントアダプタを装着し、ネットワーク接続すると［ジョブ情報］画面が表示されます。

各画面の開き方は以下の 2 通りあります。

［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］で本機を追加した後は、一度印刷設定画面を開いてください。印刷設定画面を開くと、プリンタ情報の取得を開始します。

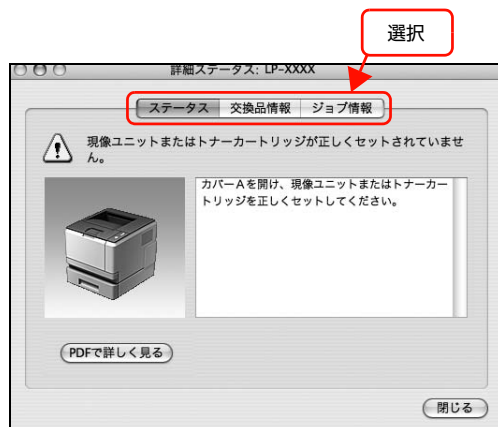
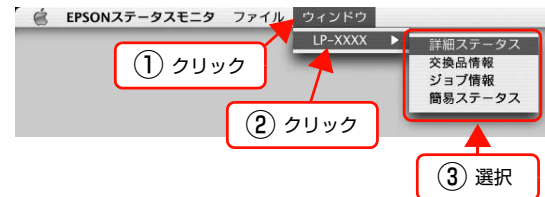
方法 1

1 Dock にある EPSON ステータスモニタのアイコンをクリックします。

［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］で設定したデフォルトプリンタの EPSON ステータスモニタが起動します。

Mac OSX v10.4 では、プリンタドライバをインストール後、再ログインまたは OS を再起動するとアイコンが表示されます。

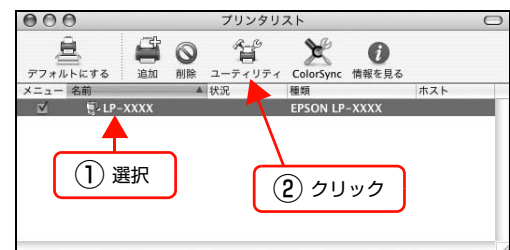
2 ［ステータス］、［交換品情報］、［ジョブ情報］画面を切り替えます。

- クリックして画面を切り替えます。

- ［ウィンドウ］メニューで本機を選択してから、表示したいメニューを選択します。

［簡易ステータス］が画面上に表示されていないとき、メニューから［簡易ステータス］はグレーアウトし、選択できません。

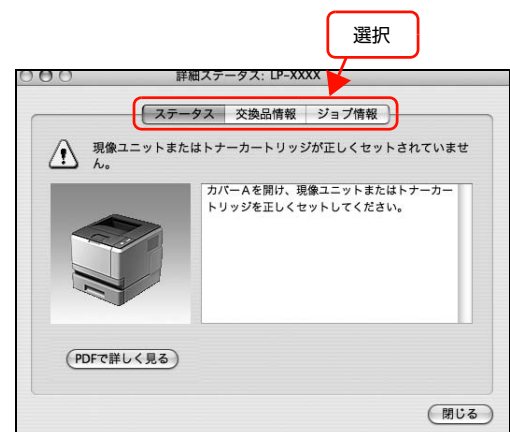
以上で終了です。

方法 2

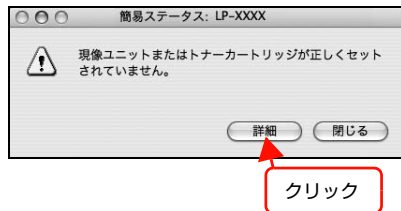
1 ［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］の［プリンタリスト］から本機を選択し、［ユーティリティ］をクリックします。

プリンタ登録直後は起動しない場合があります。そのときは一度［印刷］画面を開く必要があります。

参考
本機を Bonjour 接続している場合は、［プリンタリスト］画面の［ユーティリティ］をクリックしても、EPSON ステータスモニタは起動しません（Mac OS X の仕様により、WEB ブラウザが起動します）。Dock から EPSON ステータスモニタを起動してください。

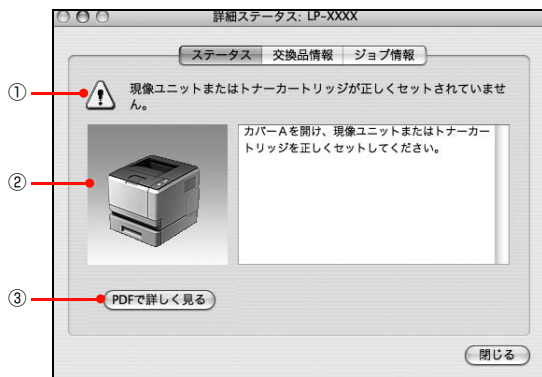
2 ［ステータス］、［交換品情報］、［ジョブ情報］のいずれかを選択して画面を切り替えます。

クリックして画面を切り替えます。

以上で終了です。

各画面の概要

[簡易ステータス]画面

プリンタの状態を示すメッセージが表示されます。[詳細]をクリックすると[詳細ステータス]画面が表示されます。

[詳細ステータス]画面

プリンタの状態を示すメッセージや、エラーの対処方法などが表示されます。

① アイコン / メッセージ

プリンタの状態を示すメッセージとアイコンが表示されます。

② イラスト / メッセージ

プリンタの状態を示すメッセージと、該当箇所を示すイラストを表示します。エラーが発生したときは、対処方法を表示します。

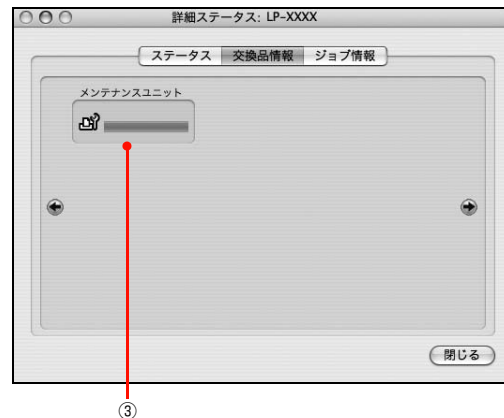
③ [PDF で詳しく見る]ボタン

取扱説明書（電子マニュアル）がインストールされている環境下で、紙詰まりや交換品の寿命など特定のエラーが発生したときに表示されます。ボタンをクリックすると、PDF 版の取扱説明書が起動し、対処方法が記載されたページが表示されます。

[通知設定] 画面の [取扱説明書を参照する] のチェックが外れているときは表示されません。

☞ 本書 32 ページ「監視・通知の設定」

[交換品情報]画面

交換品の寿命（残量）などが表示されます。画面内の表示切り替えボタン [←] / [→] をクリックすると、画面が切り替わります。

① 用紙

給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（タイプ）、用紙残量の目安を表示します。

② トナー

トナーの残量の目安を表示します。トナーに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

③ メンテナンスユニット

メンテナンスユニットの寿命の目安を表示します。メンテナンスユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

[ジョブ情報]画面

ネットワーク環境で印刷中またはプリンタで処理中のジョブの状態が表示されます。

プリントサーバを介さないネットワーク接続（Bonjour、EPSON TCP/IP、EPSON AppleTalk による接続）の場合に使用できます。

①ジョブリスト

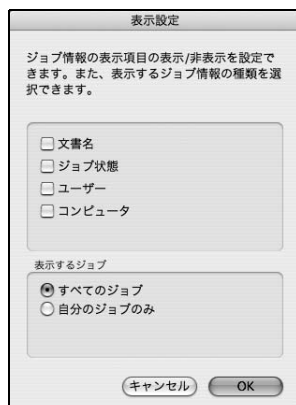
コンピュータでスプール中またはプリンタで処理中のジョブの文書名、状態、ユーザー名、コンピュータ名を表示します。リスト一番左のアイコンは、印刷の状態に応じて変化します。

ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブの情報は表示されません。

- 送信中ジョブ
- 印刷済みジョブと削除済みジョブ
- 待機中または印刷中の文書名

②[表示設定]ボタン

ジョブリストの表示内容を設定します。

表示する項目名にチェックを付けると表示され、チェックを外すと表示されません。

③[情報の更新]ボタン

最新のジョブ情報を表示します。

④[印刷中止]ボタン

ジョブリストに表示されている印刷中、送信中、待機中、保持のジョブを選択し、[印刷中止] をクリックすると、そのジョブの印刷を中止することができます。

ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブは中止できません。

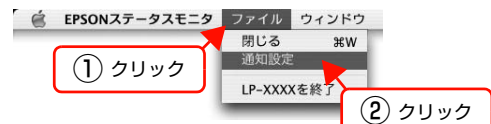
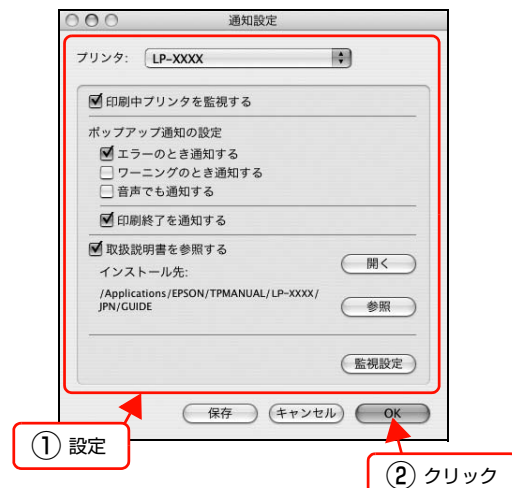
監視・通知の設定

EPSON ステータスモニタで、どのような状態を画面表示するか、音声通知するかなどを設定します。

設定方法は以下の通りです。

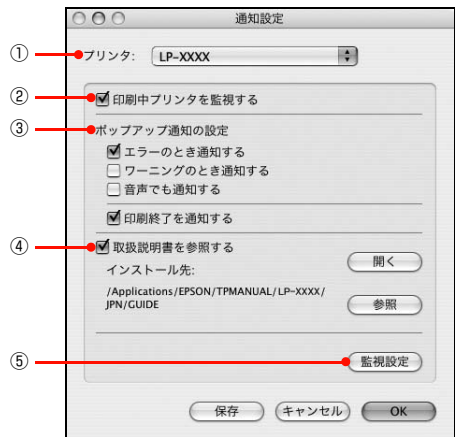
1 **Dock にある EPSON ステータスモニタのアイコンをクリックします。**

[プリンタ設定ユーティリティ]/[プリンタセンター]で設定したデフォルトプリンタの EPSON ステータスモニタが起動します。

2 **EPSON ステータスモニタの[ファイル]メニューから［通知設定］をクリックします。**

3 **必要な項目を設定します。**

設定項目の詳細は以下を参照してください。

本書 33 ページ「[通知設定] 画面」

以上で終了です。

[通知設定]画面

①プリンタ

複数プリンタを監視しているときに、設定を行うプリンタを切り替えます。

②印刷中プリンタを監視する

印刷中にプリンタを監視します。

③ポップアップ通知の設定

エラーやワーニング発生時に［簡易ステータス］画面で知らせるかどうかを設定します。

項目	内容
エラーのとき通知する	エラー発生時に通知します。
ワーニングのとき通知する	ワーニング発生時に通知します。
音声でも通知する	お使いのコンピュータのサウンド機能が有効な（消音でない）ときに、エラーやワーニングを音声でも通知します。
印刷終了を通知する	印刷が終了すると以下の画面を表示して通知します。 LP-XXXX-XXXXXXXX Apple Talk 印刷を終了しました。 ユーザー名 : XXXXX 文書名 : 書類 印刷総数 : 1 枚 コンピュータ名 : XXXXX ジョブタイプ : 標準 通知数 : 1 <<前の通知　閉じる ジョブ管理機能をサポートしていない環境ではグレーアウトして設定できません。

④取扱説明書を参照する

トラブル発生時に表示する取扱説明書（電子マニュアル）に関する設定をします。チェックすると、紙詰まりなどのエラーが発生したときに［詳細ステータス］画面の［ステータス］タブに［PDF で詳しく見る］ボタンが表示されます。ボタンをクリックすると、PDF 版の取扱説明書が起動し、対処方法が記載されたページが表示されます。チェックを外すと、［PDF で詳しく見る］ボタンは表示されません。

項目	説明
[開く]	クリックすると、取扱説明書（電子マニュアル）の先頭ページを表示します。
[インストール先：]	取扱説明書（電子マニュアル）がインストールされている場所を表示します。
[参照]	取扱説明書（電子マニュアル）をインストールしたフォルダを選択できます。インストール先を変更したり、ネットワーク環境でサーバにインストールした取扱説明書（電子マニュアル）を参照するときなどは、該当のフォルダを選択してください。

⑤[監視設定]ボタン

［監視設定］をクリックすると、監視する間隔（ローカル接続時 6 ～ 60 秒 / ネットワーク接続時 15 ～ 60 秒）を設定できます。なお、［初期値に戻す］をクリックすると、監視間隔を初期値に戻します。

EPSON リモートパネル！

本機のさまざまな機能を設定するには、EPSON リモートパネル！をお使いください。

画面の起動

画面の開き方は以下の２通りあります。

方法 1

Dock にある EPSON リモートパネル！アイコンをクリックします。

EPSON リモートパネル！が起動します。

プリンタ登録直後は起動しない場合があります。そのときは一度［印刷］画面を開く必要があります。

方法 2

［プリンタ設定ユーティリティ］／［プリントセンター］の［プリンタリスト］から本機を選択し、［option］キーを押したまま［ユーティリティ］をクリックします。

EPSON リモートパネル！が起動します。

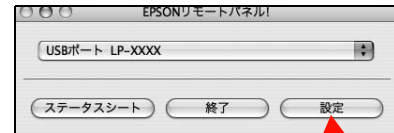
プリンタ登録直後は起動しない場合があります。そのときは一度［印刷］画面を開く必要があります。

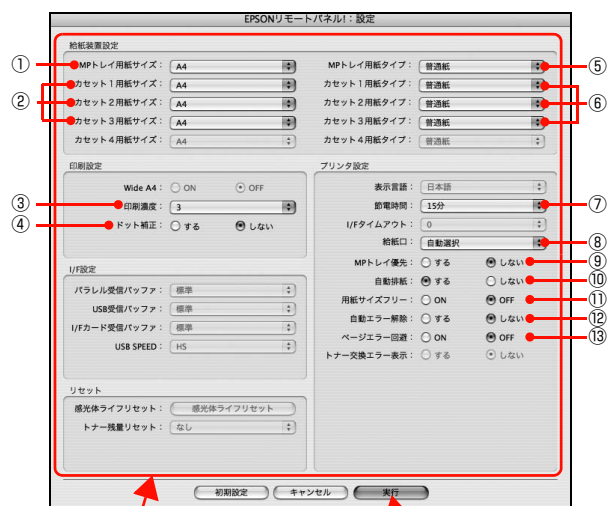
参考

本機を Bonjour 接続している場合は、［プリンタリスト］画面の［ユーティリティ］を［option］キーを押したままクリックしても、EPSON リモートパネル！は起動しません（Mac OS X v10.3 の仕様により、WEB ブラウザを起動します）。Dock から EPSON リモートパネル！を起動してください。

以上で終了です。

各項目の設定

1　［Dock］または［プリンタ設定ユーティリティ］／［プリントセンター］から EPSON リモートパネル！を起動した画面で［設定］をクリックします。

2　［設定］画面で必要な項目を設定をして、［実行］をクリックします。

- 本機に必要のない設定はグレーで表示されています。（設定はできません）。
- 設定を変更した場合は［実行］をクリックすることで有効になります。

①MP トレイ用紙サイズ	MP トレイにセットした用紙サイズを設定します。
②カセット＊用紙サイズ ＊はカセット番号で１～３を表示。	用紙カセットにセットした用紙サイズを設定します。
③印刷濃度	印刷の濃さ（1 ～ 5）を調整します。1 に設定すると最も薄く、5 に設定すると最も濃く印刷します。

④ドット補正	1200dpi 印刷時に極細線（1 ドット相当の細い線）がとぎれて印刷されてしまうときに、ドット補正をするかを設定します。 しない： ドット補正を行いません。 する： ドット補正を行います。
⑤MP トレイ用紙タイプ	MP トレイにセットした用紙のタイプ（普通紙、上質紙、印刷済み、レターヘッド、再生紙、色つき、OHP シート、ラベル）を設定します。 印刷時に設定する［プリント］画面の［用紙種類］と合わない場合は、最良の印刷結果が得られません。
⑥カセット＊用紙タイプ ＊ はカセット番号で、1 〜 3 を表示。	用紙カセットにセットした用紙のタイプ（普通紙、上質紙、印刷済み、レターヘッド、再生紙、色つき）を設定します。 印刷時に設定する［プリント］画面の［用紙種類］と合わない場合は、最良の印刷結果が得られません。
⑦節電時間	節電時間に入るまでの時間（5分、15 分、30 分、60 分、120 分、180 分、240 分）を設定します。頻繁に印刷することがない場合は、本機能により印刷待機時の消費電力を節約することができます。最後の印刷が終了してから、指定した時間（初期値 15 分）が経過すると節電状態になります。節電状態のときは、印刷するデータを受け取ると数秒間ウォーミングアップを行ってから印刷を開始します。
⑧給紙口	用紙を給紙する装置（自動選択、MP トレイ、用紙カセット＊）を設定します。 ＊ はカセットの番号で 1 〜 3 を表示。
⑨MP トレイ優先	給紙装置の優先順位を設定します。 しない： ［給紙装置］が［自動選択］で MPトレイと各カセットの用紙サイズが同じときに用紙カセットから先に給紙します。 する： ［給紙装置］が［自動選択］で MPトレイと各カセットの用紙サイズが同じときにMPトレイから先に給紙します。
⑩自動排紙	I/F タイムアウト後に、プリンタ内に残っているデータを自動排紙するかを設定をします。 しない： 自動排紙を行いません。 する： 自動排紙を行います。
⑪用紙サイズフリー	プリンタにセットした用紙サイズとプリンタドライバで設定した用紙サイズが合っているかの監視を設定します。 OFF にすると監視をし、ON にすると監視しません。
⑫自動エラー解除	「用紙交換」、「ページエラー」、「メモリオーバー」などのエラーが発生したときに、一定時間（約 5 秒）経過後にエラー状態を自動的に解除する / しないを設定します。 しない： 上記のエラーが発生したときに、【印刷可】ボタンを押してエラー状態を解除しない限りプリンタの動作は停止して処理を再開しません。 する： 上記のエラーが発生したときに、一定時間（約 5 秒）経過後、エラー状態を自動的に解除して動作を継続します。
⑬ページエラー回避	印刷時にページエラーが発生した場合の動作を設定します。 OFF： エラーが発生したときに、【印刷可】ボタンを押してエラー状態を解除しない限りプリンタの動作は停止して処理を再開しません。 ON： エラーが発生したときに、一定時間（約 5 秒）経過後、エラー状態を自動的に解除して動作を継続します。

以上で終了です。

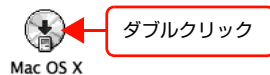
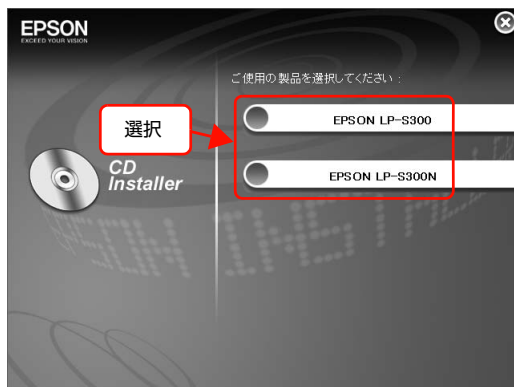
ソフトウェアを選択してインストール

セットアップ時にインストールされないソフトウェアをインストールしたいときや、再インストールが必要なときは、必要なソフトウェアだけを選択してインストールすることができます。

ソフトウェアの不具合などにより、すでにインストールされているソフトウェアをインストールし直したいときは、対象のソフトウェアを一旦削除してからインストールをし、[プリンタ設定ユーティリティ] / [プリントセンター] で本機を選択し直してください。

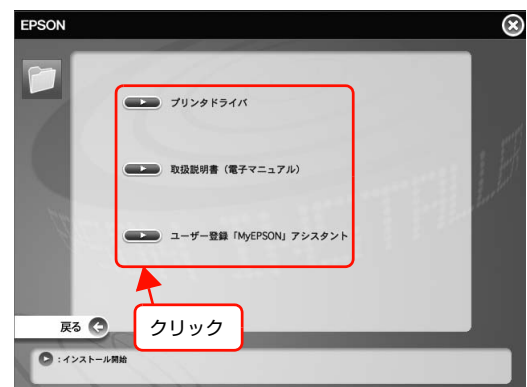
☞ 本書 37 ページ「ソフトウェアの削除」

1 Mac OS X を起動してソフトウェア CD-ROM をセットし、デスクトップの［EPSON］のアイコンをダブルクリックします。

2 ［Mac OS X］のアイコンをダブルクリックします。

3 お使いの機種名を選択します。

4 ［カスタムインストール］をクリックします。

LP-S300 の場合

LP-S300N の場合

5 インストールするソフトウェアの［　］をクリックします。

6 画面の指示に従ってインストール作業を進めます。

最後に［完了］をクリックしてインストールを終了します。

以上で終了です。

ソフトウェアの削除

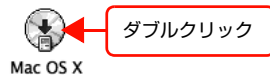
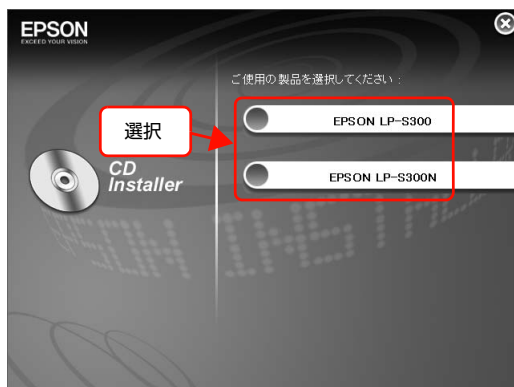
インストールしたソフトウェアを削除する方法を説明します。再インストールやバージョンアップをするときは、対象のソフトウェアを削除してから行います。

！重要

ソフトウェアの削除は管理者権限をお持ちの方が行ってください。

1 起動しているアプリケーションソフトを終了し、コンピュータを再起動します。

2 Mac OS X を起動してソフトウェア CD-ROM をセットし、デスクトップの［EPSON］のアイコンをダブルクリックします。

3 ［Mac OS X］のアイコンをダブルクリックします。

4 お使いの機種名を選択します。

5 インストールしたときと同様にソフトウェアを選択します。

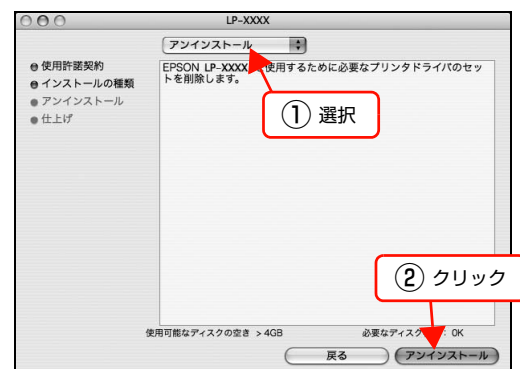
LP-S300 の場合

- ［おすすめインストール］－［すべてのソフトウェア］
- ［カスタムインストール］－各ソフトウェア

LP-S300N の場合

- ［おすすめインストール］－［ローカル（直接）接続］
- ［おすすめインストール］－［ネットワーク（LAN）接続］
- ［カスタムインストール］－各ソフトウェア

6 画面の指示に従って進みます。

7 以下の画面が表示されたら、メニューから［アンインストール］を選択し、［アンインストール］をクリックします。

8 画面の指示に従ってアンインストール作業を進めます。

最後に［完了］をクリックしてアンインストールを終了します。

ソフトウェアのバージョンアップ

ソフトウェアCD-ROMに収録されているプリンタドライバなどのソフトウェアは、バージョンアップを行うことがあります。必要に応じて新しいソフトウェアをお使いください。

入手方法

最新のソフトウェアは、弊社のホームページからダウンロードできます。最新バージョンの情報は、ホームページでご確認ください。バージョンは、数字が大きいほど新しいものです。

アドレス　http://www.epson.jp/

CD-ROM での郵送をご希望の場合は、エプソンディスクサービスが実費にて承ります。
☞『セットアップと使い方編』（冊子）裏表紙

バージョンアップの手順

ソフトウェアのバージョンアップの手順は以下の通りです。

旧バージョンのソフトウェアを削除 ☞ 本書 37 ページ「ソフトウェアの削除」

↓

新バージョンのソフトウェアを入手 （ダウンロードまたは郵送）

↓

ファイルを解凍してインストール

特殊紙（ハガキや封筒など）への印刷

ハガキや厚紙などの特殊な用紙への印刷方法を説明します。特殊紙はすべて MP トレイから給紙してください。

☞ 本書 39 ページ「ハガキ」
☞ 本書 40 ページ「封筒」
☞ 本書 41 ページ「厚紙」
☞ 本書 42 ページ「ラベル紙」
☞ 本書 42 ページ「OHP シート」
☞ 本書 43 ページ「定形紙以外の用紙」

印刷できる用紙の詳細は以下を参照してください。

☞『セットアップと使い方編』（冊子）―「印刷できる用紙」

- 特殊紙への印刷速度は、普通紙への印刷に比べて遅くなります。これは、特殊紙への良好な印刷を行うために、プリンタ内部で印刷速度を調整しているためです。
- 大量に印刷するとき、大量に用紙を購入するときは、事前に試し印刷をして思い通りの印刷結果になることを確認してください。

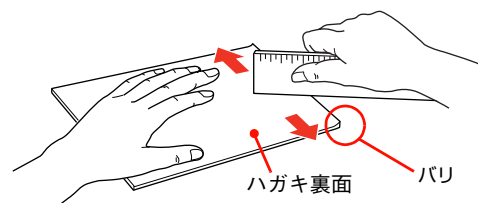
ハガキ

ハガキに印刷する際のご注意や、印刷手順を説明します。

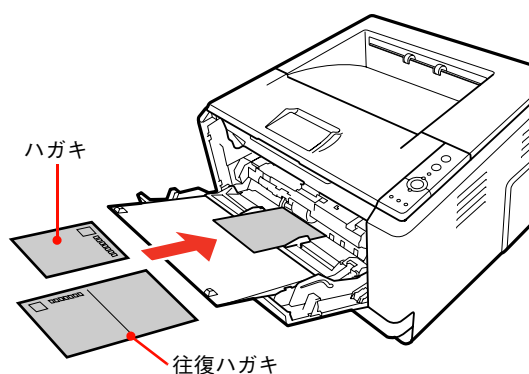
ハガキに関するご注意

- 以下のハガキには印刷しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。
  - ・インクジェットプリンタ用の専用ハガキ
  - ・表面に特殊コート、糊付けが施されたハガキ、圧着ハガキ
  - ・ほかのプリンタやコピー機で一度印刷したハガキ
  - ・私製ハガキ、絵ハガキなど
  - ・箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のあるハガキ
  - ・中央に折り跡のある往復ハガキ
- 大きく反っているハガキは、反りを修正してからお使いください。
- 絵入りハガキを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着して給紙できなくなることがあります。

給紙 / 印刷のポイント

- 両面に印刷するときは、良好な印刷結果を得るために、宛名面を先に印刷してから通信面を印刷してください。
- 設定した位置に印刷されなかったり、用紙が二重送りされてしまうときは、用紙を 1 枚ずつセットして印刷してください。
- ハガキの先端を MP トレイの奥までしっかりセットしても給紙されないときは、先端を数ミリ上に反らせてセットしてください。
- ハガキの断面に、裁断時にできた「バリ」があるときは、除去してください。ハガキを水平な場所に置き、定規などを「バリ」がある部分に垂直にあてて矢印方向に 1 ～ 2 回こすると除去できます。また、バリを除去した後は、紙粉をよく払ってから給紙してください。紙粉は給紙不良の原因となります。

印刷手順

1 **MP トレイにハガキをセットします。**

セット枚数	20 枚（MP トレイのみ）
印刷面	印刷する面を上にしてセット
セット方向	縦長

2 **下表を参照してプリンタドライバの設定をし、印刷を実行します。**

OS	設定画面	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	ハガキ 100 × 148mm 往復ハガキ 148 × 200mm
		給紙装置	MP トレイ
Mac OS X	ページ設定	用紙サイズ	ハガキ 往復ハガキ
	印刷設定	給紙装置	MP トレイ

☞ Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

以上で終了です。

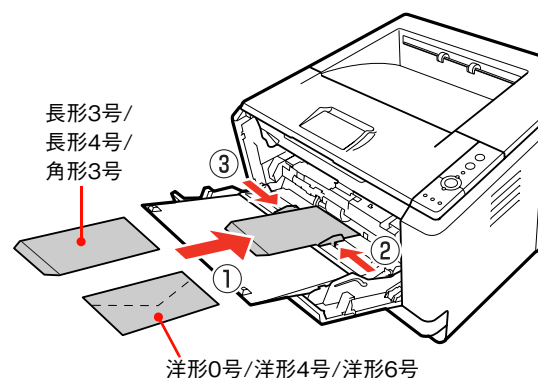
封筒

封筒に印刷する際のご注意や、印刷手順を説明します。

封筒に関するご注意

- 以下の封筒には印刷しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。
  - ・封の部分に糊付け加工が施されている封筒
  - ・箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のある封筒
  - ・リボン、フックなどが付いている封筒
  - ・ほかのプリンタやコピー機で一度印刷した封筒
  - ・二重封筒
  - ・窓付きの封筒
  - ・フラップの長さが 35mm 以上の封筒
- 封筒の紙種、保管および印刷環境、印刷方法によっては、しわが目立つことがありますので、事前に試し印刷することをお勧めします。

印刷手順

 MP トレイに封筒をセットします。

セット枚数	5 枚（MP トレイのみ）	
印刷面	印刷する面を上にしてセット	
セット方向	洋形 0 号 / 洋形 4 号 / 洋形 6 号	フラップを閉じ、フラップ部が用紙左下になるように縦長にセット
	長形 3 号 / 長形 4 号 / 角形 3 号	フラップを開き、フラップ部が手前になるように縦長にセット

2 下表を参照してプリンタドライバの設定をし、印刷を実行します。

OS	設定画面	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	洋形０号 120 × 235mm 洋形４号 105 × 235mm 洋形６号　98 × 190mm 長形３号 120 × 235mm 長形４号　90 × 205mm 角形３号 216 × 277mm
		給紙装置	MP トレイ
Mac OS X	ページ設定	用紙サイズ	洋形０号、洋形４号、洋形６号、長形３号、長形４号、角形３号
	印刷設定	給紙装置	MP トレイ

Windows：本書４ページ「プリンタドライバの使い方」
Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

以上で終了です。

厚紙

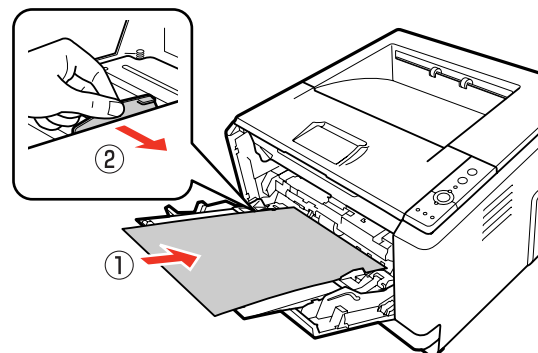
厚紙に印刷する際のご注意や、印刷手順を説明します。

厚紙に関するご注意

- 大きく反っている厚紙は、反りを修正してからお使いください。
- 特厚紙は、両面印刷に対応していません。

印刷手順

1 **MP トレイに厚紙をセットします。**
セット方法は、下表と図を参照してください。

セット枚数	５枚（MP トレイのみ）
印刷面	印刷する面を上にしてセット
セット方向	縦長

2 下表を参照してプリンタドライバの設定をし、印刷を実行します。

OS	設定画面	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズ
		給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	厚紙
Mac OS X	ページ設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズ
	印刷設定	給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	厚紙

Windows：本書４ページ「プリンタドライバの使い方」
Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

以上で終了です。

ラベル紙

ラベル紙に印刷する際のご注意や、印刷手順を説明します。

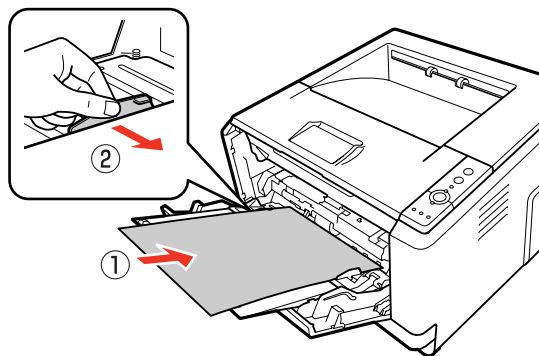
ラベル紙に関するご注意

以下のラベル紙は使用しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。

- ページプリンタ用またはコピー機用以外のラベル紙
- 簡単にはがれてしまうラベル紙
- 一部がはがれているラベル紙
- 糊がはみ出しているラベル紙
- 台紙全体がラベルで覆われていないラベル紙
- インクジェットプリンタ用のラベル紙

印刷手順

1 MP トレイにラベル紙をセットします。

セット方法は、下表と図を参照してください。

セット枚数	5 枚（MP トレイのみ）
印刷面	印刷する面を上にしてセット
セット方向	縦長

2 下表を参照してプリンタドライバの設定をし、印刷を実行します。

OS	設定画面	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	A4 210 × 297mm
		給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	ラベル
Mac OS X	ページ設定	用紙サイズ	A4
	印刷設定	給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	ラベル

☞ Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

以上で終了です。

OHP シート

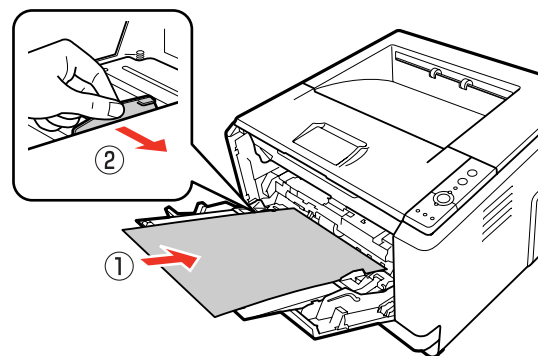
OHP シートに印刷する際のご注意や、印刷手順を説明します。

OHP シートに関するご注意

- OHP シートは、手の脂が付かないように、手袋をはめるなどしてお取り扱いください。OHP シートに手の脂が付着すると、印刷不良の原因になる場合があります。
- 印刷直後の OHP シートは熱くなっていますのでご注意ください。

印刷手順

1 MP トレイに OHP シートをセットします。

セット方法は、下表と図を参照してください。

セット枚数	5 枚（MP トレイのみ）
印刷面	印刷する面を上にしてセット
セット方向	縦長

2 下表を参照してプリンタドライバの設定をし、印刷を実行します。

OS	設定画面	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	A4 210 × 297mm
		給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	OHP シート
Mac OS X	ページ設定	用紙サイズ	A4
	印刷設定	給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	OHP シート

☞ Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

以上で終了です。

定形紙以外の用紙

定形紙以外の用紙に印刷する際のご注意や、印刷手順を説明します。

定形紙以外の用紙に関するご注意

定形紙以外の用紙に印刷するときは、必ずプリンタドライバの［ユーザー定義サイズ］（Windows）/［カスタム用紙（サイズ）］（Mac OS X）で用紙サイズを指定してください。サイズの異なる用紙を選択して印刷し続けると、プリンタ内部の定着器が損傷することがあります。

用紙サイズの登録

定形紙以外の用紙に印刷するときは、任意の用紙サイズをあらかじめ登録しておきます。

登録できる用紙サイズの詳細は以下を参照してください。

☞『セットアップと使い方編』（冊子）－「用紙一覧と設定早見表」

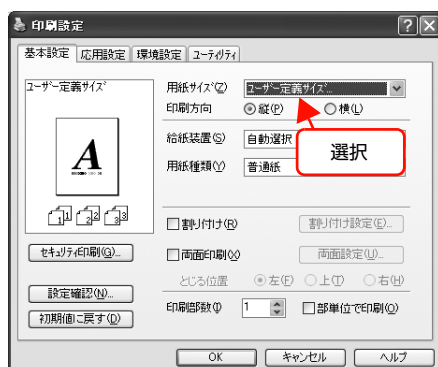
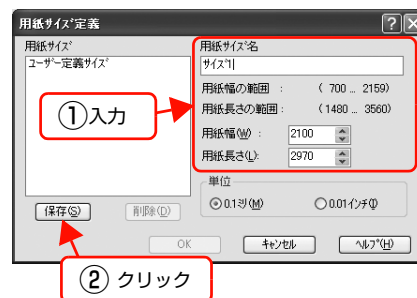
登録した用紙サイズは、本機のプリンタドライバを再インストールしても保持されます。

Windows の場合

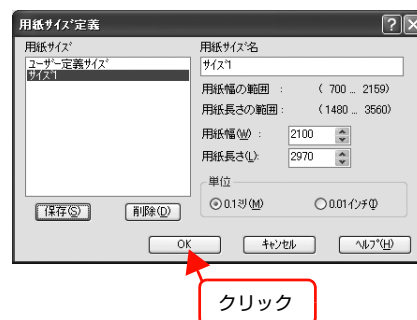
［用紙サイズ］リストに用意されていない用紙サイズを［ユーザー定義サイズ］として 20 件まで登録できます。

1 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

☞ 本書 4 ページ「設定画面の開き方」

2 **プリンタドライバの［基本設定］画面の［用紙サイズ］リストから［ユーザー定義サイズ］を選択します。**

3 **［用紙サイズ名］、［用紙幅］、［用紙長さ］を入力してから、［保存］をクリックします。**

- 登録されている用紙サイズを変更する場合は、［用紙サイズ］リストから変更したい用紙サイズをクリックして選択し、保存し直します。
- 登録されている用紙サイズを削除する場合は、［用紙サイズ］リストから削除したい用紙サイズをクリックして選択し、［削除］をクリックします。

4 **［OK］をクリックします。**

ここで登録した用紙サイズが［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。

以上で終了です。

Mac OS X v10.2.8 ～ v10.3.9 の場合

[用紙サイズ] リストに用意されていない用紙サイズを [カスタム用紙サイズ] として登録できます。

カスタム用紙サイズの登録は Mac OS X の機能ですので、特定のプリンタドライバに依存することなく、すべてのプリンタドライバで利用できます。

1 **プリンタドライバの［ページ設定］画面を開きます。**

本書 28 ページ「ページ設定」

2 **［設定］メニューから［カスタム用紙サイズ］を選択します。**

3 **［新規］をクリックします。**

- 登録されている用紙サイズを複製するときは、リストから複製したいサイズ名をクリックして選択し、［複製］をクリックします。必要に応じて設定を変更してから［保存］をクリックします。
- 登録されている用紙サイズを削除するときは、リストから削除したいサイズ名をクリックして選択し、［削除］をクリックします。
- 登録している用紙サイズを変更するときは、リストから変更したい用紙サイズ名を選択し、設定を変更して［保存］をクリックします。

4 **［用紙サイズ名］、［用紙サイズ］、［プリンタの余白］を設定し、［OK］をクリックします。**

ここで登録した用紙サイズが［ページ設定］画面の［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。

- 設定を保存した際に、入力した値が OS の計算により変わることがあります。
- 設定の単位をインチにするには、［システム環境設定］から［言語環境］を開き、［数］タブをクリックして［計測単位］を［ヤード・ポンド法］に設定します。

5 **［OK］をクリックして［ページ設定］画面を閉じます。**

以上で終了です。

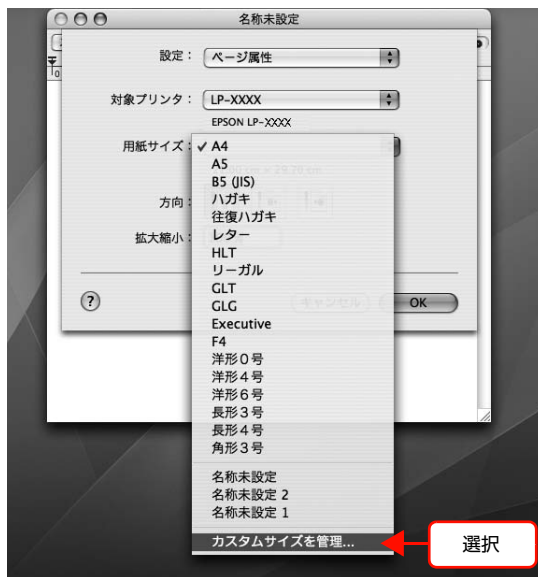
Mac OS X v10.4 の場合

［用紙サイズ］リストに用意されていない用紙サイズを［カスタムサイズ］として登録できます。

カスタムサイズの登録は Mac OS X の機能ですので、特定のプリンタドライバに依存することなく、すべてのプリンタドライバで利用できます。

1 **プリンタドライバの［ページ設定］画面を開きます。**

☞ 本書 28 ページ「ページ設定」

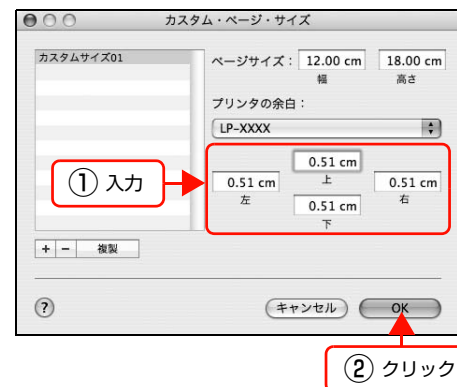
2 **［用紙サイズ］メニューから［カスタムサイズを管理］を選択します。**

3 **［+］をクリックしてリストに表示された［名称未設定］をダブルクリックし、カスタム用紙名を登録します。**

4 **［ページサイズ］に用紙サイズを入力します。**

設定の単位をインチにするには、［システム環境設定］から［言語環境］を開き、［数式］タブをクリックして［計測単位］を［U.S.］に設定します。

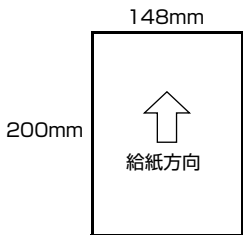
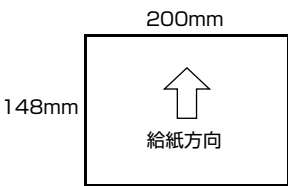
5 **［プリンタの余白］のプルダウンメニューから、プリンタ名を選択します。**

6 **［プリンタの余白］に数値を入力し、［OK］をクリックして登録します。**

ここで登録した用紙サイズが［ページ設定］画面の［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。

- 登録されている用紙サイズを複製するときは、リストから複製したいサイズ名をクリックして選択し、［複製］をクリックします。必要に応じて設定を変更してから［OK］をクリックします。
- 登録されている用紙サイズを削除するときは、リストから削除したいサイズ名をクリックして選択し、［−］をクリックします。
- 登録している用紙サイズを変更するときは、リストから変更したい用紙サイズ名を選択し、設定を変更して［OK］をクリックします。

7 **［OK］をクリックして［ページ設定］画面を閉じます。**

以上で終了です。

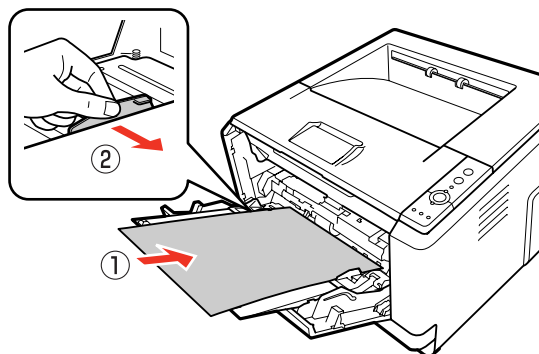
定形紙以外の用紙の印刷手順

定形紙以外の用紙を印刷するときは、トレイ用紙サイズスイッチの設定がないので、必ずプリンタドライバの［ユーザー定義サイズ］の登録をしてください。

1 **印刷する用紙のサイズを［ユーザー定義サイズ］/［カスタム用紙サイズ］としてあらかじめプリンタドライバの［用紙サイズ］に登録します。**

☞ 本書 43 ページ「用紙サイズの登録」

2 **MP トレイに用紙をセットします。**

セット方法は、下表と図を参照してください。

セット枚数	60 ～ 90g/m^2 : 50 枚 91 ～ 220g/m^2 : 5 枚
印刷面	印刷する面を上にしてセット
セット方向	登録した用紙の向き （例） 「用紙幅 148mm ×用紙長 200mm」の場合 148mm 200mm 給紙方向 （例） 「用紙幅 200mm ×用紙長 148mm」の場合 200mm 148mm 給紙方向

3 **下表を参照してプリンタドライバの設定をし、印刷を実行します。**

OS	設定画面	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	1 で登録した用紙
		給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	セットした用紙の種類
Mac OS X	ページ設定	用紙サイズ	1 で登録した用紙
	印刷設定	給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	セットした用紙の種類

☞ Windows : 本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X : 本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

以上で終了です。

便利な印刷機能

本機のプリンタドライバで設定できる、便利な機能をご紹介します。

Windows の設定画面を例に説明します。

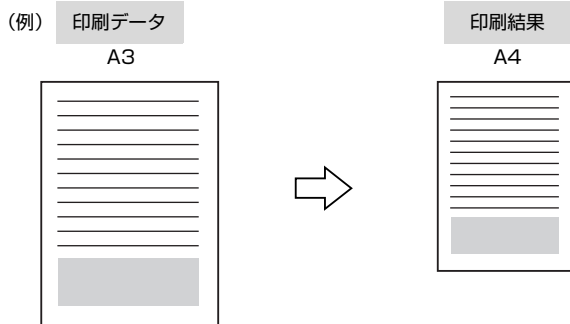
☞ 本書 47 ページ「拡大 / 縮小」
☞ 本書 48 ページ「複数ページを 1 ページに割り付け」
☞ 本書 50 ページ「両面印刷」
☞ 本書 50 ページ「製本印刷」
☞ 本書 54 ページ「原本とコピーの区別（透かし印刷）」
☞ 本書 55 ページ「背景に文字や画像を印刷（スタンプマーク）」
☞ 本書 58 ページ「ヘッダー / フッター印刷」

拡大 / 縮小

プリンタドライバの［拡大 / 縮小］機能を使用すると、アプリケーションソフトで作成したデータのサイズと異なるサイズで印刷できます。印刷したい用紙のサイズを指定するだけで、用紙の大きさに合わせて自動的に拡大 / 縮小します。また、拡大 / 縮小率を任意に設定することもできます。

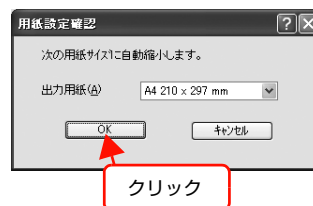
プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

☞ Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

以下に設定例を紹介します。

1 **印刷するデータを開き、プリンタドライバを開きます。**

☞ 本書 4 ページ「設定画面の開き方」

2 **自動縮小する画面が表示されたら、［OK］をクリックします。**

- ［配置］は、縦横比の違うサイズに拡大 / 縮小する際に設定してください。A3 から A4 など、縦横比が同じ場合は、どちらを選択しても印刷結果は同じです。
- ［応用設定］画面で［任意倍率］をチェックすると、任意の倍率が指定できます。チェックしなければ、用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小されます。

3 **［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

以上で終了です。

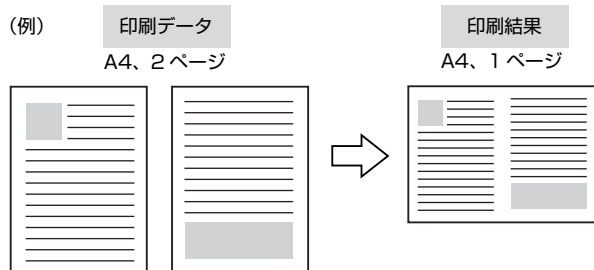
複数ページを１ページに割り付け

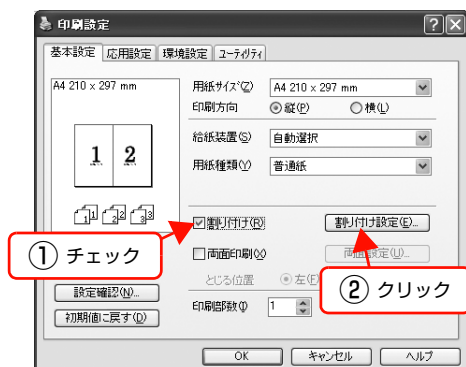
プリンタドライバの［割り付け印刷］機能を使用すると、２ページまたは４ページを１ページに割り付けて印刷できます。

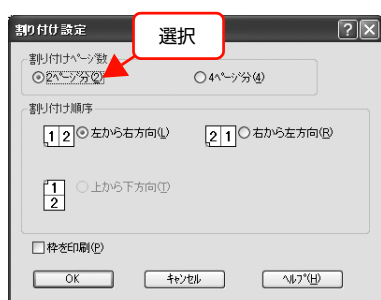
プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

Windows：本書４ページ「プリンタドライバの使い方」
Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

２ページ割り付け

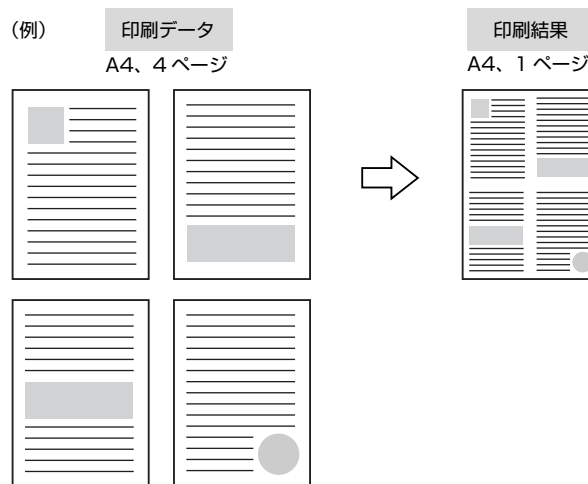
２ページのデータを１ページに割り付けます。印刷データのページサイズと同じサイズの用紙に印刷されます。

以下に設定例を紹介します。

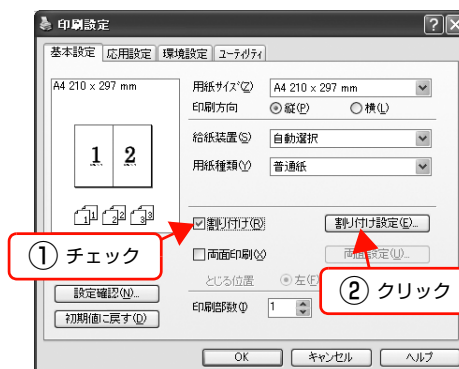
1 **プリンタドライバの［基本設定］画面で［割り付け］をチェックし、［割り付け設定］をクリックします。**

2 **［割り付け設定］画面の［割り付けページ数］で、［2ページ分］を選択します。**

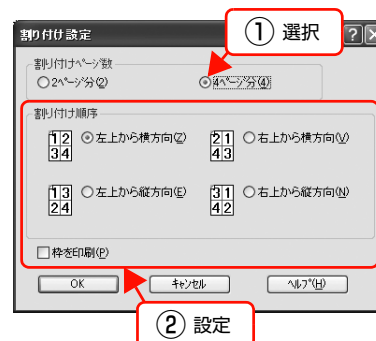
必要に応じて［割り付け順序］や［枠を印刷］も設定します。

3 **［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

以上で終了です。

４ページ割り付け

４ページのデータを１ページに割り付けます。印刷データのページサイズと同じサイズの用紙に印刷されます。

以下に設定例を紹介します。

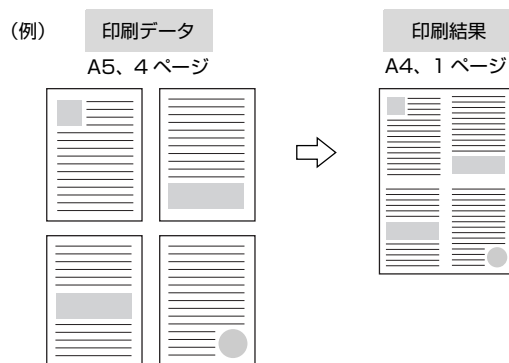
1 **プリンタドライバの［基本設定］画面で［割り付け］をチェックし、［割り付け設定］をクリックします。**

2 **［割り付け設定］画面の［割り付けページ数］で、［4 ページ分］を選択します。**

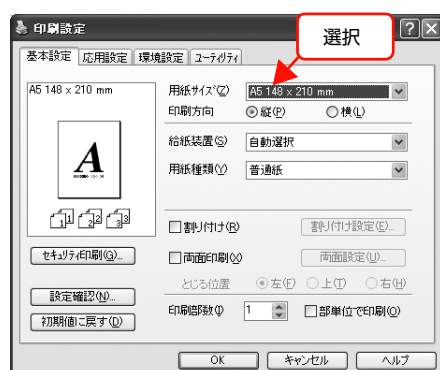
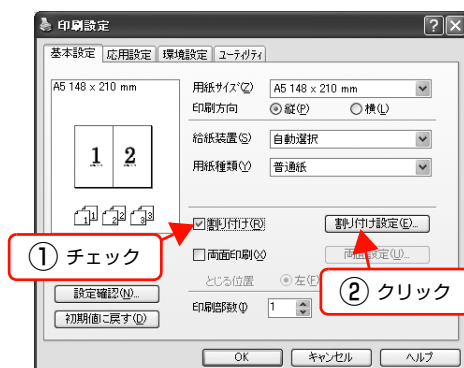
必要に応じて［割り付け順序］や［枠を印刷］も設定します。

3 [OK] をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

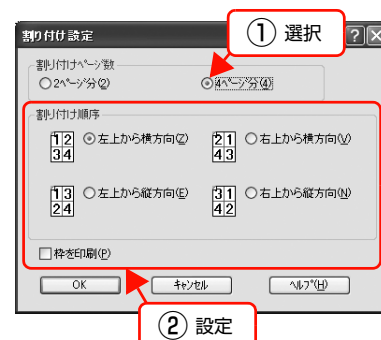
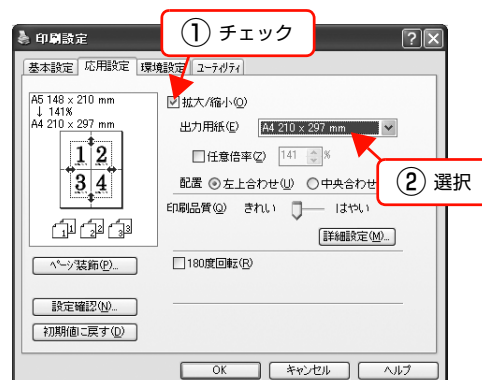
以上で終了です。

出力用紙サイズを指定

[拡大 / 縮小] 機能を併用すると、印刷する用紙サイズを自由に設定できます。

以下に設定例を紹介します。

1 プリンタドライバの [基本設定] 画面で、[用紙サイズ] から [A5] を選択します。

ここでは、印刷データの用紙サイズを設定します。

2 プリンタドライバの [基本設定] 画面で [割り付け] をチェックし、[割り付け設定] をクリックします。

3 [割り付け設定] 画面の [割り付けページ数] で、[4ページ分] を選択します。

必要に応じて [割り付け順序] や [枠を印刷] も設定します。

4 [応用設定] 画面で [拡大 / 縮小] をチェックし、[出力用紙] から [A4] を選択します。

5 [OK] をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

以上で終了です。

両面印刷

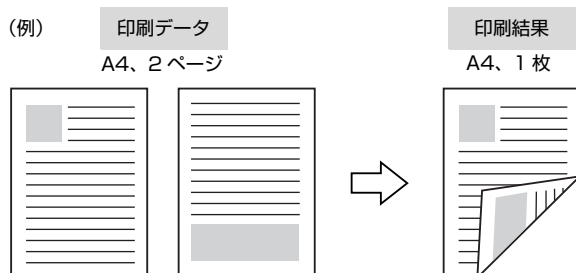
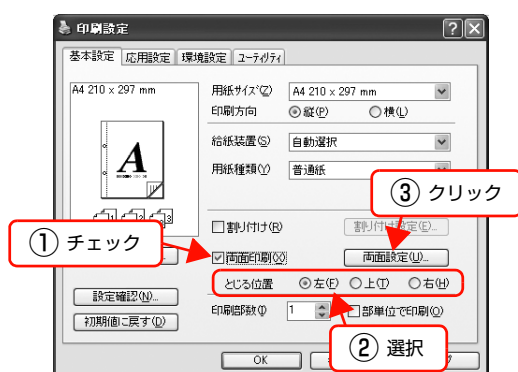
プリンタドライバの［両面印刷］機能を使用すると、用紙の両面に印刷できます。

両面印刷ができる用紙の種類は、以下を参照してください。

『セットアップと使い方編』（冊子）－「用紙一覧と設定早見表」

プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

以下に設定例を紹介します。

1 **プリンタドライバの［基本設定］画面で［両面印刷］をチェックし、［とじる位置］を選択して［両面設定］をクリックします。**

2 **［両面印刷設定］画面で必要項目を設定します。**

［製本する］の詳細は、以下を参照してください。

本書 50 ページ「製本印刷」

3 **［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

以上で終了です。

製本印刷

プリンタドライバの［両面印刷］機能を使用すると、製本用にページを並べ替えた印刷ができます。両面に2ページずつ印刷されますので、二つ折りにしてとじるだけで簡単に冊子を作ることができます。

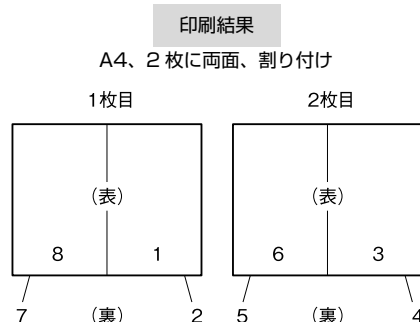
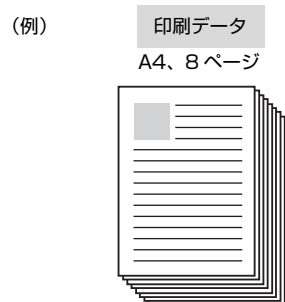
両面印刷ができる用紙の種類は、以下を参照してください。

『セットアップと使い方編』（冊子）－「用紙一覧と設定早見表」

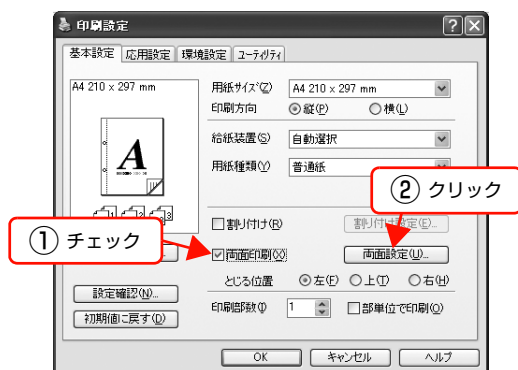
プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

全ページまとめて二つ折り

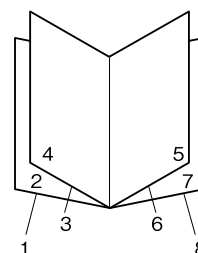
ページ数が少なく、全ページを重ねて二つ折りにできるときは、この方法で印刷します。印刷データの用紙サイズと同じサイズの用紙に、2 ページずつ両面印刷します。

以下に設定例を紹介します。

1 プリンタドライバの［基本設定］画面で［両面印刷］をチェックし、［両面設定］をクリックします。

参考
［割り付け］や［とじる位置］の設定は、2 で製本印刷の設定をすると無効になります。

2 ［両面印刷設定］画面の［製本する］をクリックし、［開き方］から［右開き］を選択します。
「部単位印刷をオンにします。」というメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

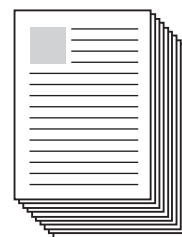
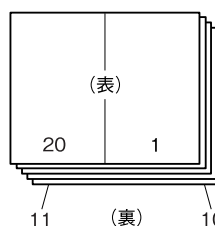
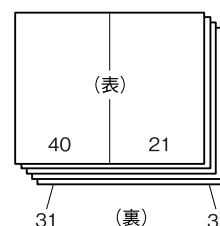
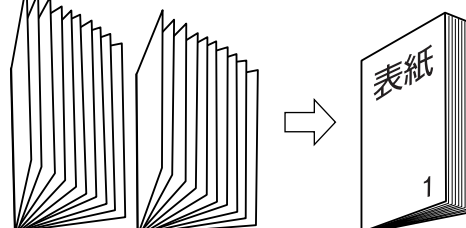
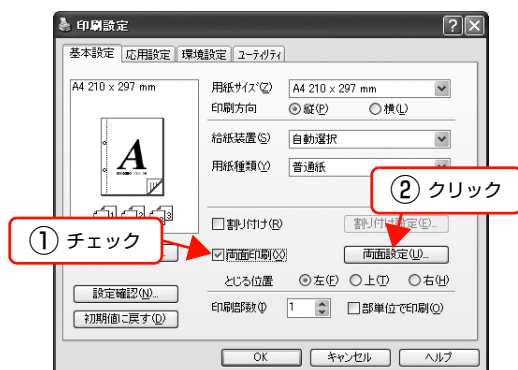
3 ［全ページ］を選択します。

4 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

5 印刷された用紙を重ね、1 ページ目（表紙）が表になるように二つ折りにしてとじます。

以上で終了です。

ページを分割して二つ折り

ページ数が多いときなどに、数枚ずつ分割して二つ折りにし、最後に 1 冊にまとめる方法です。印刷データの用紙サイズと同じサイズの用紙に、2 ページずつ両面印刷します。
以下に設定例を紹介します。

（例）　印刷データ
A4、40ページ

印刷結果
A4、10 枚に両面、割り付け 5 枚ずつ二つ折りにするようにページを並べ替え

仕上がり
A5、40 ページ、右開きの冊子

1 プリンタドライバの［基本設定］画面で［両面印刷］をチェックし、［両面設定］をクリックします。

参考

［割り付け］や［とじる位置］の設定は、2 で製本印刷の設定をすると無効になります。

2 ［両面印刷設定］画面の［製本する］をクリックし、［開き方］から［右開き］を選択します。

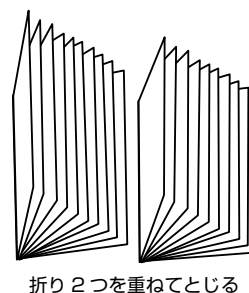
「部単位印刷をオンにします。」というメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

3 ［分割する］を選択し、［5 枚毎］に設定します。

参考

分割できる枚数の範囲は、1 ～ 10 までです。

4 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

5 印刷された用紙を5枚1組にして重ね、それぞれを二つ折りにしてからとじます。

折り 2 つを重ねてとじる

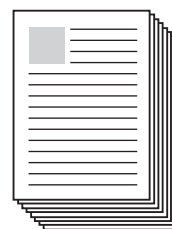
以上で終了です。

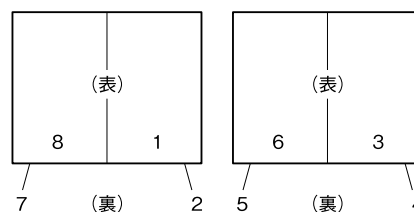
出力用紙サイズを指定

「拡大／縮小」機能を併用して、出力用紙サイズを設定できます（A4、LT サイズのみ）。

（例）

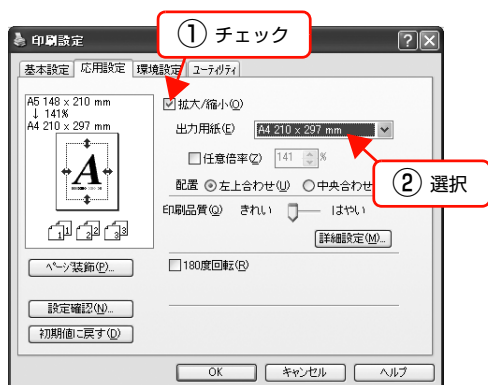
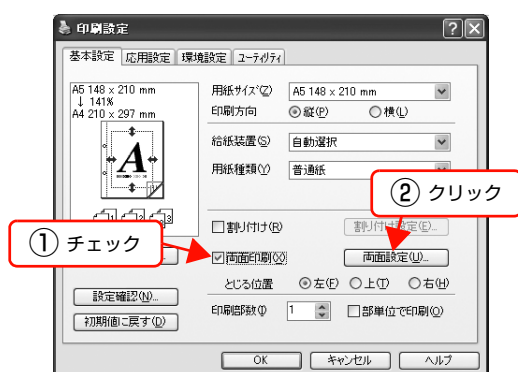
印刷データ

A5、8 ページ

印刷結果

A4、2 枚に両面、割り付け

仕上がり

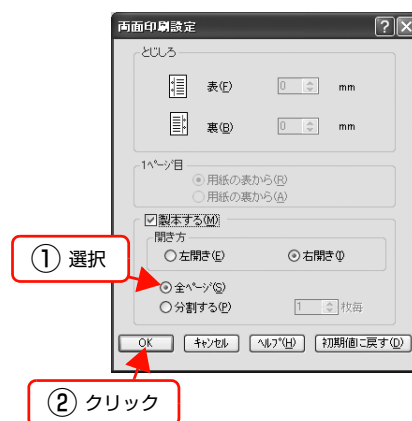
A5、8 ページ、右開きの冊子

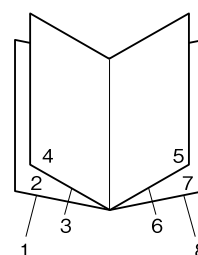
1 プリンタドライバの［基本設定］画面で、［用紙サイズ］から［A5］を選択します。

2 ［応用設定］画面で［拡大 / 縮小］をチェックし、［出力用紙］から［A4］を選択します。

3 プリンタドライバの［基本設定］画面で［両面印刷］をチェックし、［両面設定］をクリックします。

［割り付け］や［とじる位置］の設定は、4 で製本印刷の設定をすると無効になります。

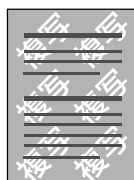
4 ［両面印刷設定］画面の［製本する］をクリックし、［開き方］から［右開き］を選択します。

「部単位印刷をオンにします。」というメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

5 ［全ページ］を選択し、［OK］をクリックして画面を閉じます。

6 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

7 印刷された用紙を重ね、1ページ目（表紙）が表になるように二つ折りにしてとじます。

以上で終了です。

原本とコピーの区別(透かし印刷)

プリンタドライバの［透かし印刷］機能を使うと、印刷文書の背景に透かし文字が印刷できます。透かし文字が印刷された原本をコピーすると、埋め込まれている文字が浮き上がったように印刷され、原本との区別がつくようになります。不正コピーの抑制などに有効です。

！重要

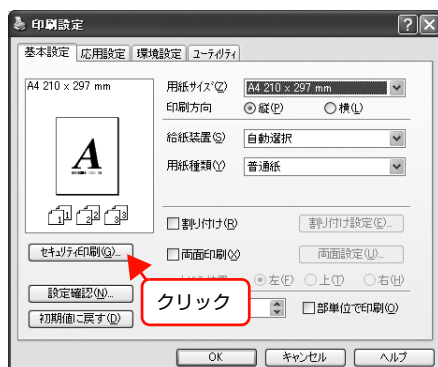
透かし印刷は、プリンタから出力した印刷物（原本）の不正コピーを抑制する機能であり、情報漏えいの防止自体を保証することはできません。
以下のような条件によって、透かし文字が濃過ぎたり、印刷物の全面に透かし印刷されなかったり、コピーしたときに文字が浮き上がらないことがあります。

- コピー機、ファクス機、コピーに使用する入力機器（デジタルカメラやスキャナなど）と出力機器（プリンタなど）の機種や設定、組み合わせ
- 本機のプリンタドライバの設定、消耗品（トナーなど）の状態や出力する用紙種類

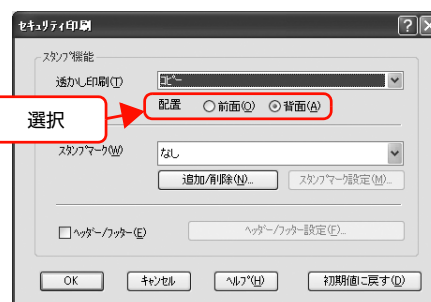
設定方法は以下の通りです。

プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

☞ Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

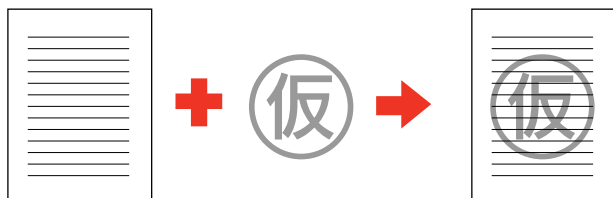
1 **プリンタドライバの［基本設定］画面の［セキュリティ印刷］をクリックします。**

2 **［セキュリティ印刷］画面の［透かし印刷］で、［コピー］または［複写］を選択します。**

「コピー」または「複写」の文字が埋め込まれます。

3 **［配置］を選択します。**

4 **［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

以上で終了です。

背景に文字や画像を印刷（スタンプマーク）

プリンタドライバの［スタンプマーク］機能を使うと、印刷文書の背景に「㊙」、「重要」、「㊢」などのスタンプマークを重ねて印刷できます。手作業でスタンプを押すなどの手間が省けて便利です。

スタンプマークの種類は、プリンタドライバにあらかじめ登録されているもののほか、任意のテキストまたはビットマップ画像（BMP）が登録できます。

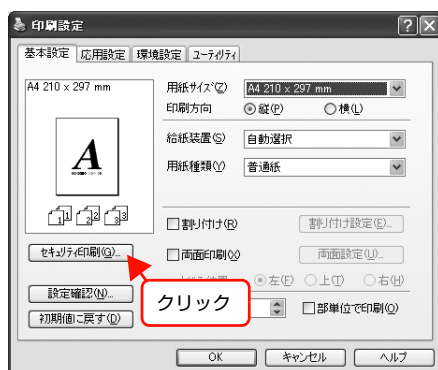
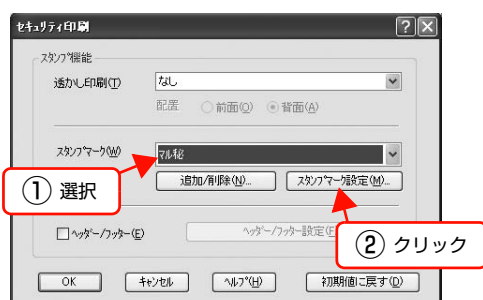
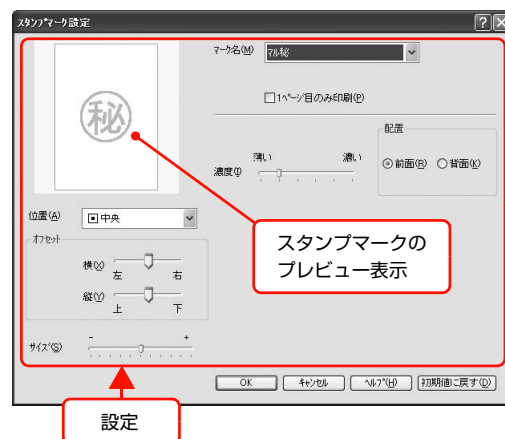
☞ 本書 56 ページ「テキストマークの登録」
☞ 本書 56 ページ「ビットマップマークの登録」

スタンプマークの設定

設定方法は以下の通りです。

プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

☞ Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

1 **プリンタドライバの［基本設定］画面で、［セキュリティ印刷］をクリックします。**

2 **［セキュリティ印刷］画面の［スタンプマーク］でスタンプマークを選択し、［スタンプマーク設定］をクリックします。**

3 **［スタンプマーク設定］画面でスタンプマークのサイズや配置などを設定します。**

4 **［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

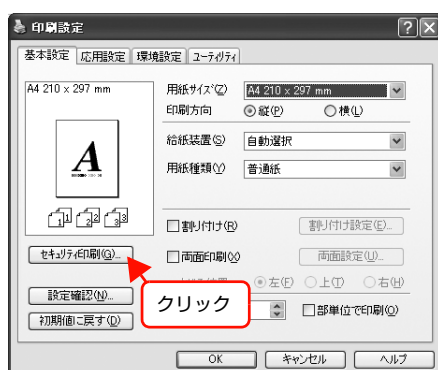
以上で終了です。

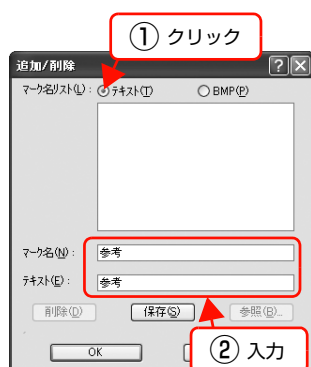
テキストマークの登録

任意のテキストをスタンプマークとして登録する方法を説明します。

プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

☞ Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

1 **プリンタドライバの［基本設定］画面で［セキュリティ印刷］をクリックします。**

2 **［セキュリティ印刷］画面で［追加 / 削除］をクリックします。**

3 **［テキスト］をクリックして、［マーク名］に任意の登録名を、［テキスト］に登録したい文字を入力します。**

4 **［保存］をクリックしてから、［OK］をクリックして画面を閉じます。**

登録したテキストマークは、［セキュリティ印刷］画面のスタンプマークのリストに登録されます。

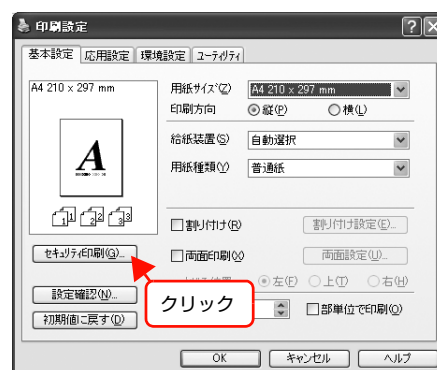
以上で終了です。

ビットマップマークの登録

任意のビットマップ画像（BMP）をスタンプマークとして登録する方法を説明します。あらかじめ、スタンプマークとして使用したい BMP 形式の画像を用意してください。

プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

☞ Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

1 **プリンタドライバの［基本設定］画面で［セキュリティ印刷］をクリックします。**

2 **［セキュリティ印刷］画面で［追加 / 削除］をクリックします。**

3 ［BMP］をクリックして、［マーク名］に任意の登録名を入力してから［参照］をクリックします。

4 登録する BMP ファイルを選択し、［開く］をクリックします。

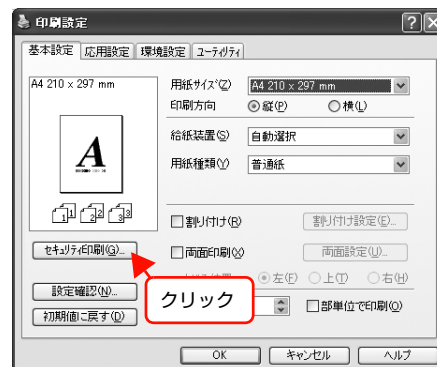
5 ［保存］をクリックしてから、［OK］をクリックして画面を閉じます。

登録したテキストマークは、［セキュリティ印刷］画面のスタンプマークのリストに登録されます。

以上で終了です。

マークの削除

登録したテキストマークとビットマップマークの削除方法を説明します。

1 プリンタドライバの［基本設定］画面で［セキュリティ印刷］をクリックします。

2 ［セキュリティ印刷］画面で［追加 / 削除］をクリックします。

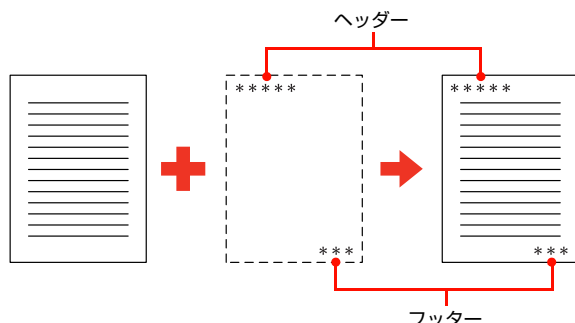
3 ［マーク名リスト］から削除したいマーク名を選択して、［削除］をクリックします。

「削除してもよろしいですか？」というメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

4 ［OK］をクリックして画面を閉じます。

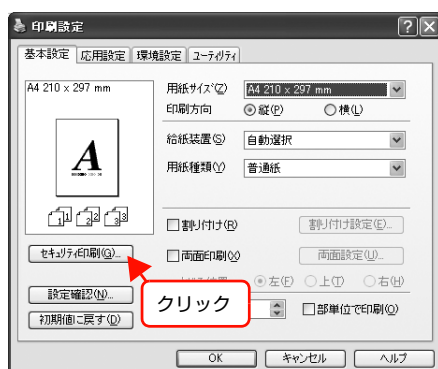
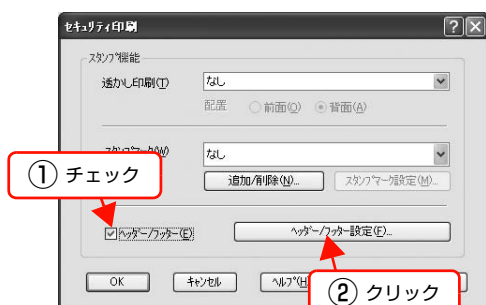
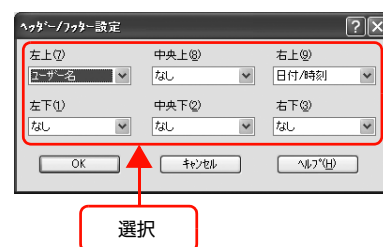
以上で終了です。

ヘッダー/フッター印刷

プリンタドライバの［ヘッダー/ フッター］機能を使うと、印刷文書にヘッダーまたはフッターとして、ユーザー名、コンピュータ名、印刷日時、ページなどが印刷できます。

設定方法は以下の通りです。

プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

☞ Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

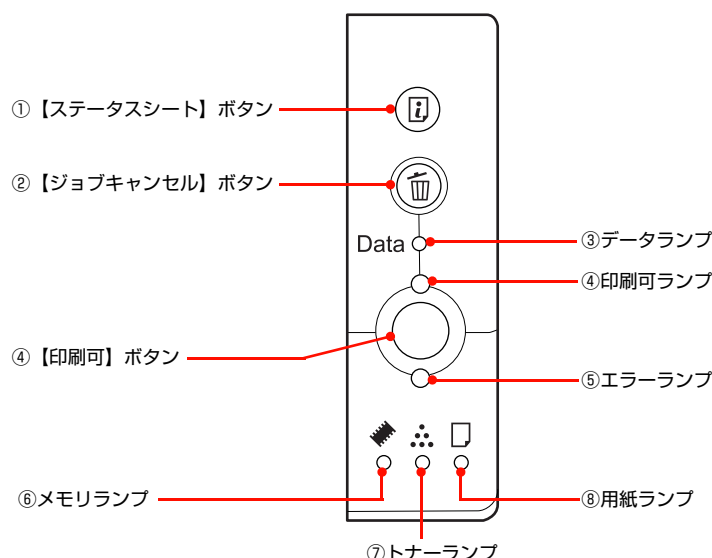
1 **プリンタドライバの［基本設定］画面で、［セキュリティ印刷］をクリックします。**

2 **［セキュリティ印刷］画面で［ヘッダー/ フッター］をチェックし、［ヘッダー/ フッター設定］をクリックします。**

3 **［ヘッダー/ フッター設定］画面で印刷する項目を選択します。**

4 **［OK］をクリックして、印刷を実行します。**

［セキュリティ印刷］画面と［基本設定］画面も、［OK］をクリックしてください。

以上で終了です。

操作パネルの使い方

操作パネルの各部の名称と役割について説明します。

操作パネルの各部の名称

①【ステータスシート】ボタン

プリンタのステータスシートを印刷します。

ネットワークステータスシートの印刷は、約2秒以上押します（LP-S300N のみ）。

ワーニング（プリンタに何らかの問題が発生して適切な処置が必要な場合）の発生時に押すと、ワーニング状態を解除します（ランプが消えます。）

②【ジョブキャンセル】ボタン

押し方	処理
1 回押す	処理中の印刷データ（ジョブ単位）をキャンセルします。
約2秒以上押す	処理中の印刷データをすべて削除します。

③データランプ

印刷データが残っているときや処理中に点灯または点滅します。

④印刷可ランプ /【印刷可】ボタン

ランプは、印刷できる状態のときに点灯します。ボタンは、プリンタの状態によって処理が異なります。

ランプの状態	プリンタの状態	【印刷可】ボタンの機能
印刷可ランプ点灯	印刷可状態	印刷可 / 印刷不可（オフライン）状態を切り替えます。
印刷可ランプ消灯、データランプ点灯	印刷不可状態	約 2 秒以上押すと、受信している印刷データの最初のページのみ印刷して排紙します。
エラーランプ点滅	自動復帰できるエラーが発生	エラーを解除して印刷可状態へ自動的に復帰します。
エラーランプ点灯	自動復帰できないエラーが発生	適切な処置を行ってエラー状態を解消すると、自動的に印刷可能状態に復帰します。【印刷可】ボタンを押す必要はありません。

⑤エラーランプ

エラーが発生したときに点灯または点滅します。

⑥メモリランプ

メモリエラーが発生したときに点灯または点滅します。

⑦トナーランプ

トナーエラーが発生したときに点灯または点滅します。

⑧用紙ランプ

用紙エラーが発生したときに点灯または点滅します。

索引

て

と

は

ひ

ふ

へ

め

ゆ

よ

ら

り

わ